



「これからの“とちぎ”づくりに関する県民意向調査」

報告書（概要版）

平成21年3月

栃 木 県

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、県政に対する県民の意見や要望を的確に把握し、次期総合計画を策定する上で参考に資することを目的とする。

2 調査の内容

本調査は、以下の質問項目によりアンケート調査を実施したものである。

問1 生活の関心事

問2 これからの望ましい「とちぎ」の姿

問3 様々な取組の必要性に関する「重要度」、「満足度」、「県民と行政の役割分担」

問4 よりよい“とちぎ”づくりに向けた今後の行動、参加意向

3 調査の実施方法

調査対象 栃木県内に住む満20歳以上の男女個人

標本数 5,000

標本抽出方法 住民基本台帳に基づく層化二段無作為抽出法

郵送方法 郵送法

調査期間 平成21年1月21日～2月6日

調査実施機関 株式会社 サーベイリサーチセンター

4 配布・回収状況

地域	配布数	回収数	回収率	市町村
県北地域	1,197件	669件	55.9%	大田原市、那須塩原市、那須町、日光市、矢板市、さくら市、塩谷町、高根沢町、那須烏山市、那珂川町
県央地域	2,066件	1,223件	59.2%	宇都宮市、上三川町、壬生町、鹿沼市、真岡市、二宮町、益子町、茂木町、市貝町、芳賀町
県南地域	1,737件	999件	57.5%	小山市、下野市、野木町、栃木市、大平町、藤岡町、岩舟町、都賀町、西方町、足利市、佐野市
無回答	—	12件	—	—
合計	5,000件	2,903件	58.1%	

5 回答者のプロフィール

(1) 性別 (人、%)

	合計
男性	1,393 (48.0)
女性	1,500 (51.7)
無回答	10 (0.3)
合計	2,903 (100.0)

(2) 年代別 (人、%)

	合計
20歳代	231 (8.0)
30歳代	398 (13.7)
40歳代	478 (16.5)
50歳代	585 (20.2)
60歳代	644 (22.2)
70歳以上	558 (19.2)
無回答	9 (0.3)
合計	2,903 (100.0)

(3) 地域別 (人、%)

	合計
県北地域	669 (23.0)
県央地域	1,223 (42.1)
県南地域	999 (34.4)
無回答	12 (0.4)
合計	2,903 (100.0)

(4) 職業別 (人、%)

	合計
農林水産業	147 (5.1)
自営業(商・工・サービス)・自由業	317 (10.9)
会社員・団体職員・公務員	912 (31.4)
パート・アルバイト	402 (13.8)
無職(専業主婦、学生を含む)	954 (32.9)
その他	159 (5.5)
無回答	12 (0.4)
合計	2,903 (100.0)

(5) 居住経験別 (人、%)

	合計
本県以外の居住年数合計が、本県居住年数よりも長い	335 (11.5)
本県居住年数が、本県以外の居住年数合計よりも長い	1,018 (35.1)
本県以外の居住経験なし	1,486 (51.2)
無回答	64 (2.2)
合計	2,903 (100.0)

6 調査結果を見る上での注意事項

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。したがって、単数回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合がある。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合がある。
- ・回答者数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合がある。

第2章 調査結果の詳細

1. 生活の関心事

全体でみると、「自分の健康・体力」(63.1%)が唯一6割台となっており、次いで「自分の老後」(44.6%)と「家族の健康・介護」(40.2%)が4割台、「仕事、事業(学生の場合:学習)」(30.5%)が3割を超え、「家計」(23.1%)、「余暇・趣味、生涯学習」(20.8%)と「安全・安心の確保」(20.6%)が2割台で続いている。(図表1-1)

性別でみると、「仕事、事業(学生の場合:学習)」は男性(37.3%)が女性(24.3%)より13ポイント高く、差が一番大きくなっている。(図表1-2)

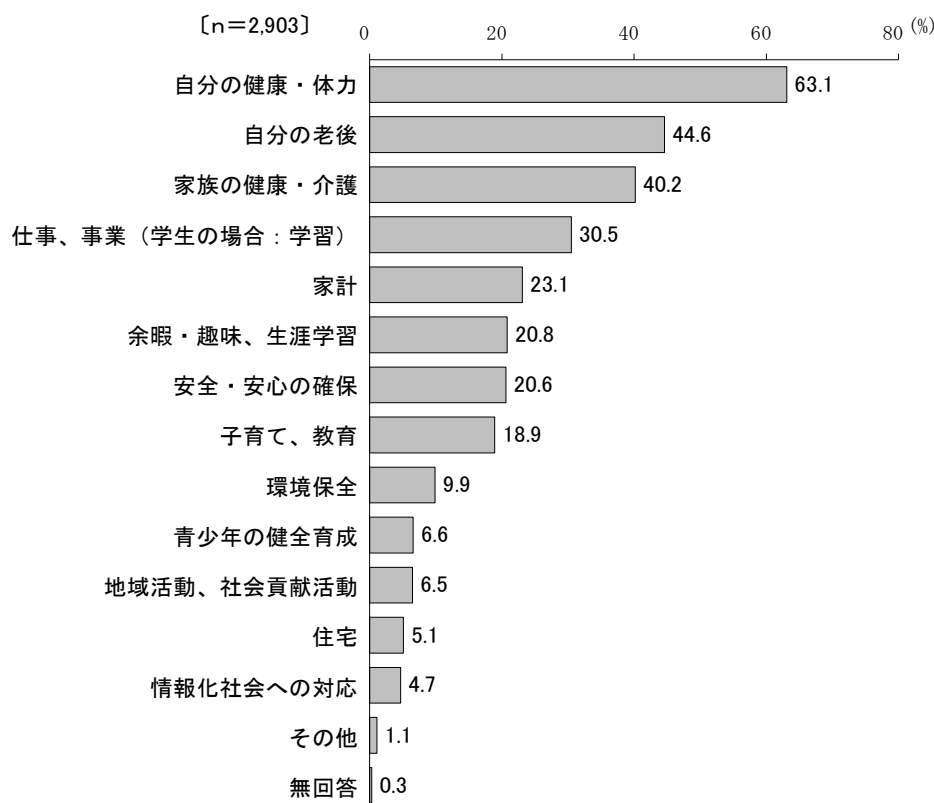
年代別(3区分)でみると、「自分の健康、体力」、「自分の老後」、「家族の健康・介護」の上位3項目はいずれも年代が上がるほど高くなっている。(図表1-3)

地域別にみると、地域間で差はみられず、「自分の健康・体力」が6割台を占めている。(図表1-4)

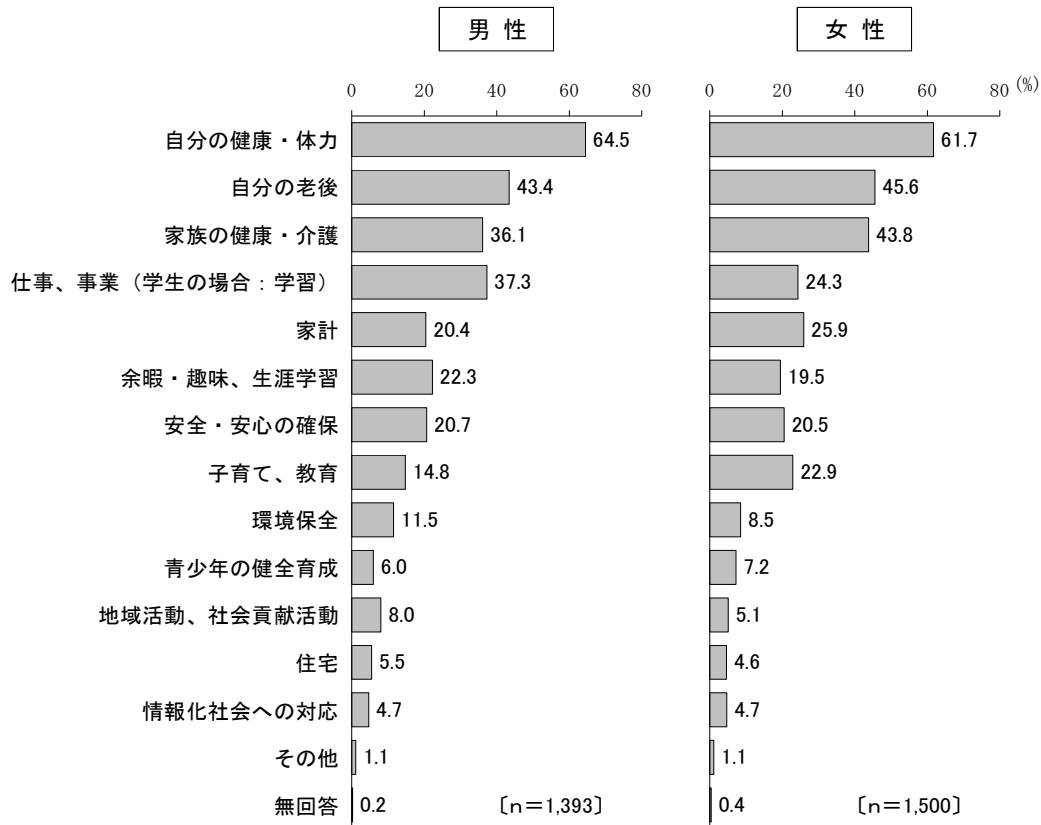
居住経験別にみると、「自分の健康、体力」、「自分の老後」、「家族の健康・介護」の上位3項目はいずれも〈本県以外の居住経験なし〉で最も高くなっている。(図表1-5)

職業別にみると、「自分の健康・体力」(79.6%)と「自分の老後」(55.8%)、「家族の健康・介護」(54.4%)は〈農林水産業〉が最も高い。(図表1-6)

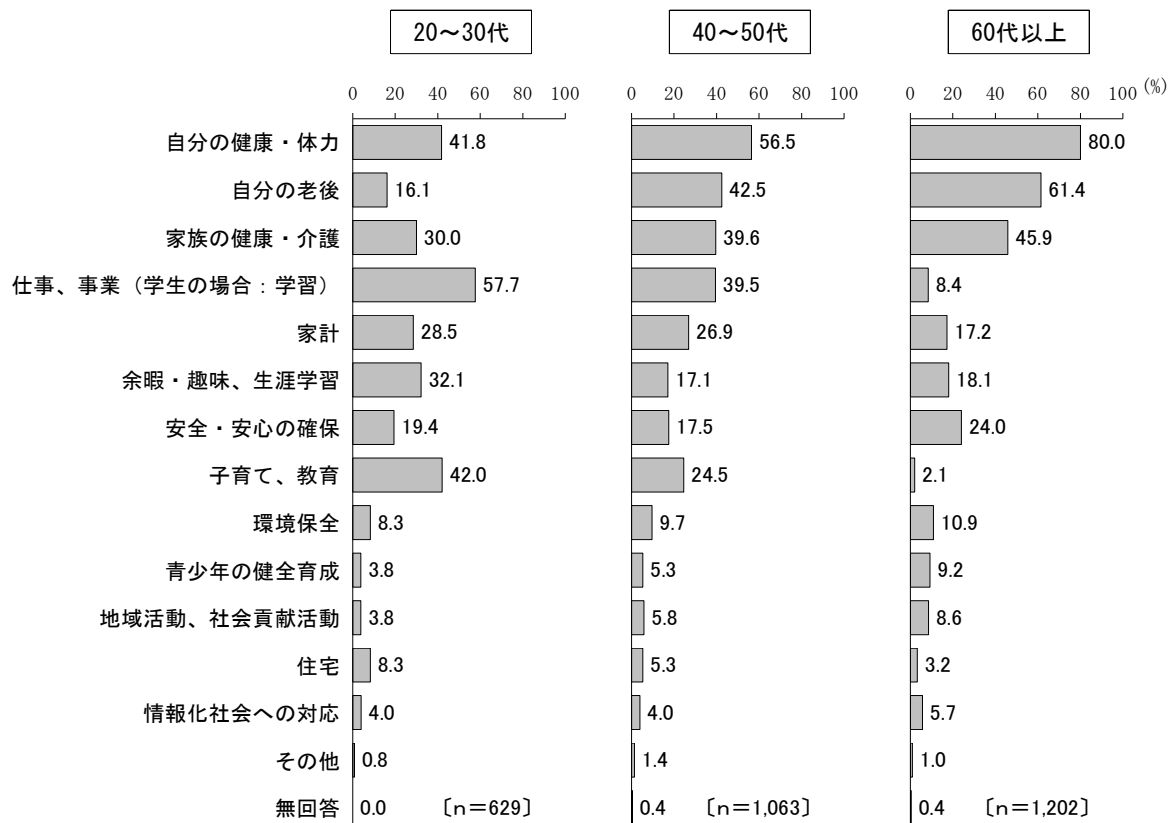
図表1-1 生活の関心事



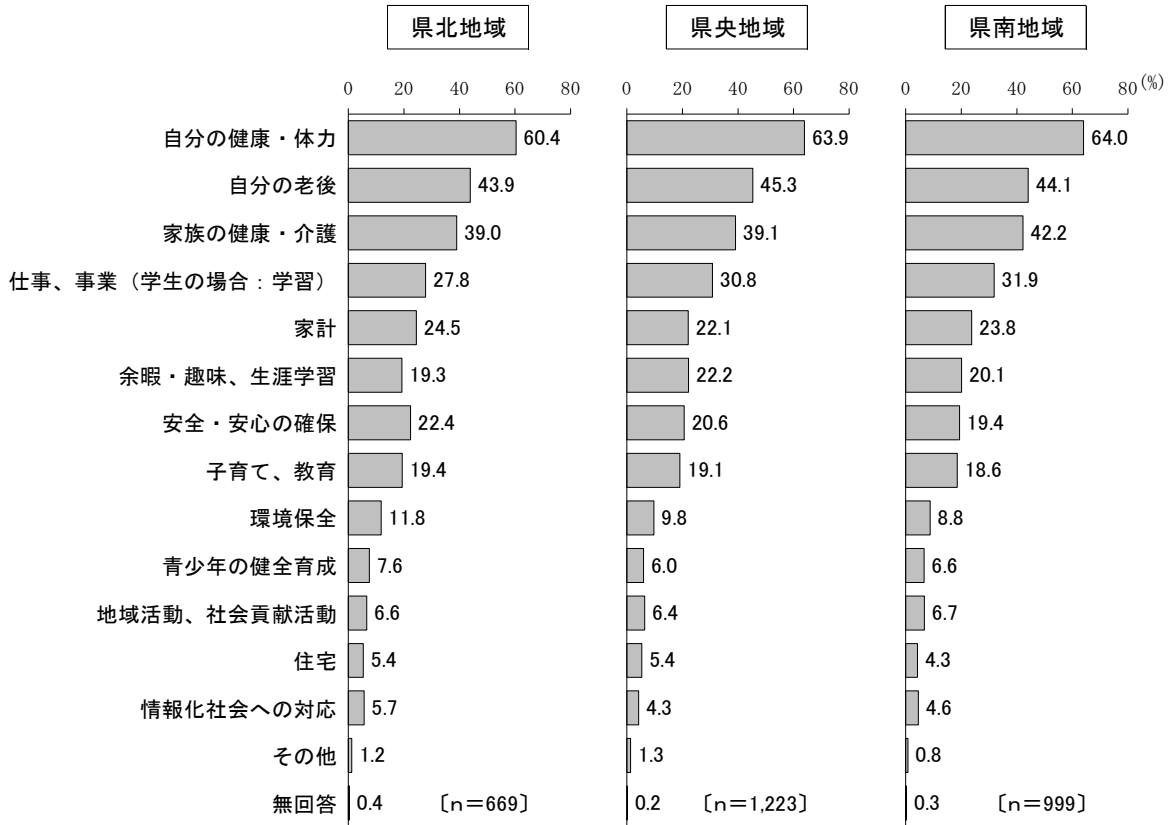
図表 1-2 生活の関心事 性別



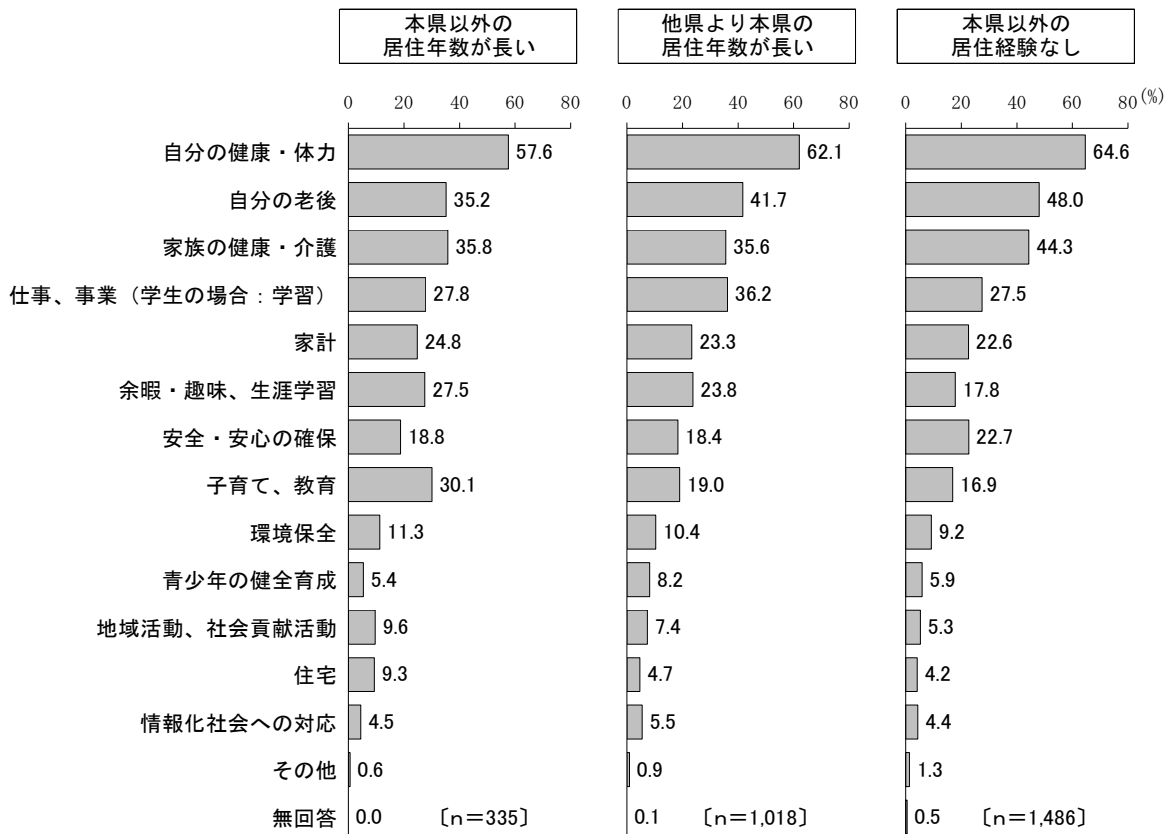
図表 1-3 生活の関心事 年代別（3区分）



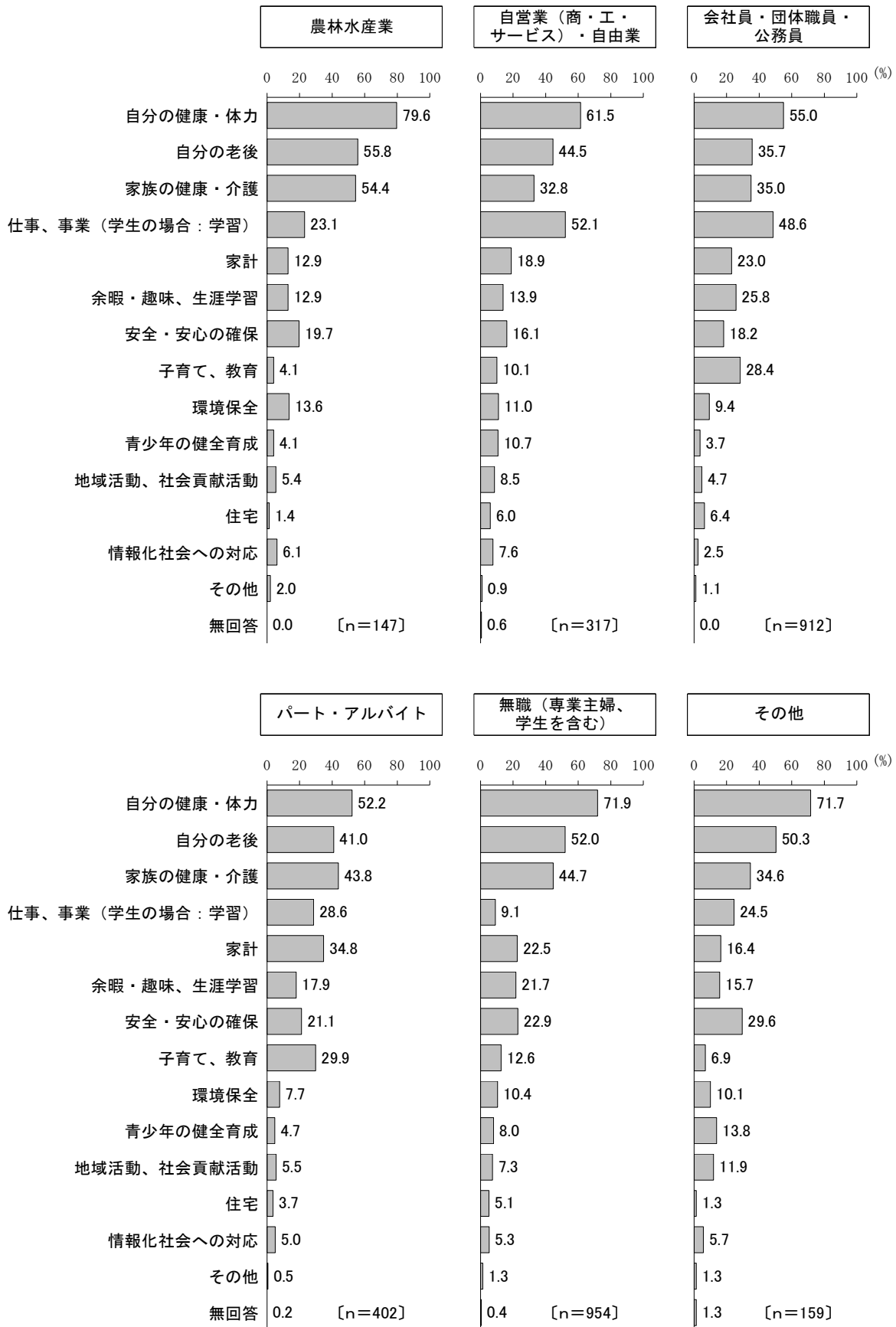
図表 1-4 生活の関心事 地域別



図表 1-5 生活の関心事 居住経験別



図表 1-6 生活の関心事 職業別



2. これからの望ましい「“とちぎ”の姿」

全体でみると、「お年寄りも心や体に障害を持った人々もみんなが気持ちよく暮らせる地域」(55.1%)が5割半ばで最も高く、「安心して子どもを産み育てていくことができる地域」(45.3%)がこれに次ぎ、「地域社会の人々みんなが助け合っていける地域」(38.5%)と「森や川や身近な環境を大切にする地域」(32.4%)が3割台、「いろいろな農産物をうみ、豊かな森がいきづく農林業の盛んな地域」(21.6%)と「ライフスタイルに応じていろいろな働き方ができる地域」(20.4%)が2割台となっている。(図表2-1)

性別でみると、「お年寄りも心や体に障害を持った人々もみんなが気持ちよく暮らせる地域」、「ライフスタイルに応じていろいろな働き方ができる地域」は女性の方が高く、逆に「森や川や身近な環境を大切にする地域」、「いろいろな農産物をうみ、豊かな森がいきづく農林業の盛んな地域」、「新しい事業にチャレンジできる産業活動が活発な地域」、「ものづくりが自慢できる工業の盛んな地域」は男性の方が高くなっている。(図表2-2)

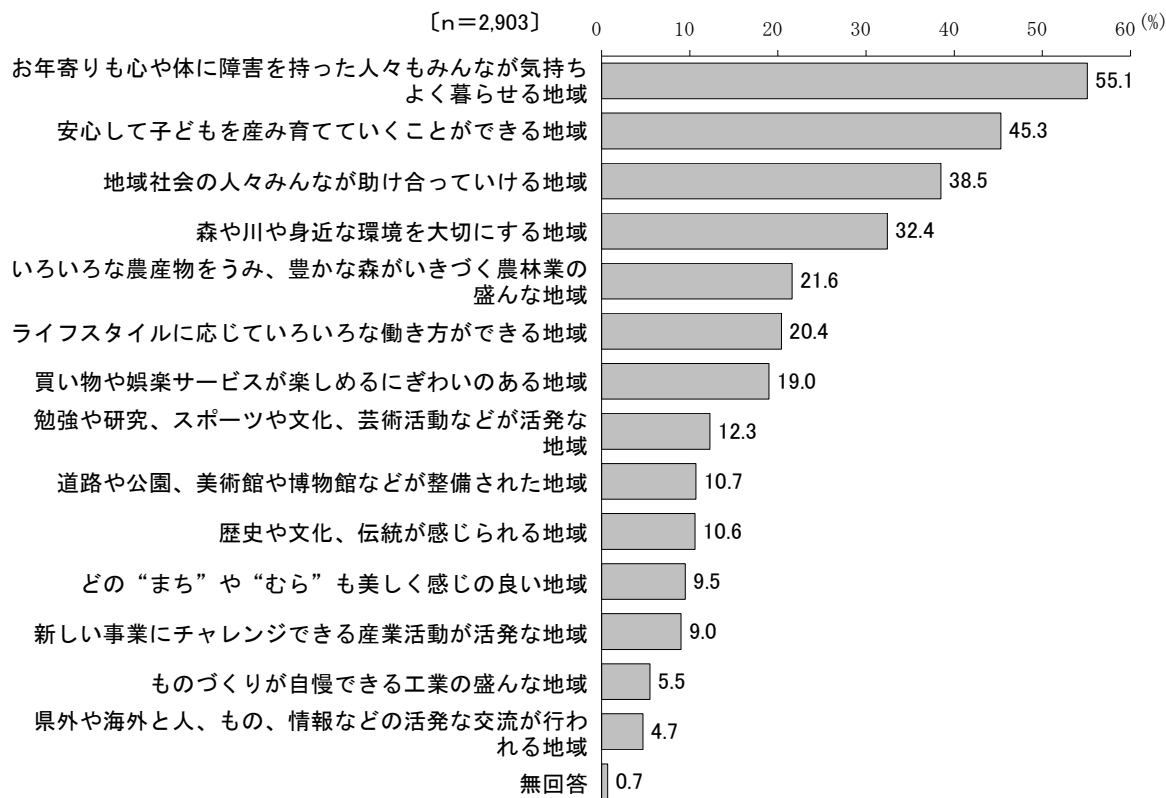
年代別(3区分)でみると、「お年寄りも心や体に障害を持った人々もみんなが気持ちよく暮らせる地域」と「地域社会の人々みんなが助け合っていける地域」は年代が上がるほど高くなっている。(図表2-3)

地域別にみると、「お年寄りも心や体に障害を持った人々もみんなが気持ちよく暮らせる地域」は県北地域(51.0%)が他の地域よりも低く、「いろいろな農産物をうみ、豊かな森がいきづく農林業の盛んな地域」は県南地域(18.6%)が、「新しい事業にチャレンジできる産業活動が活発な地域」は県央地域(6.5%)がそれぞれ低くなっている。(図表2-4)

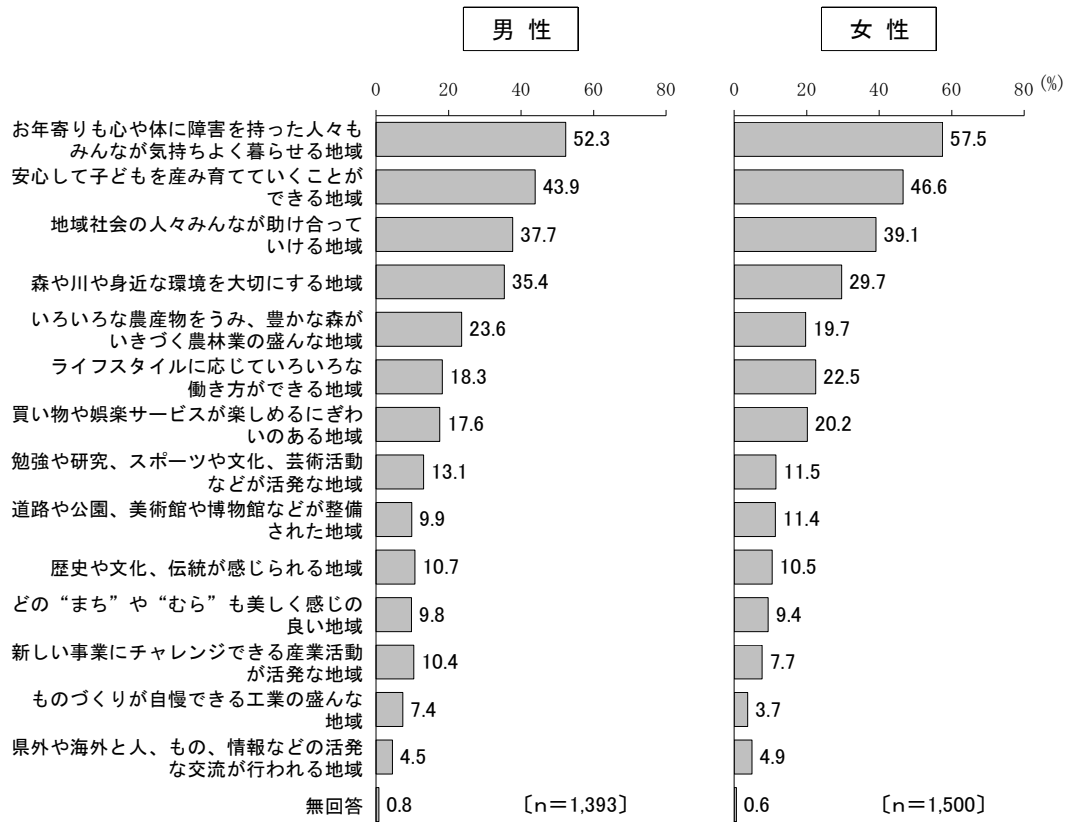
居住経験別にみると、「お年寄りも心や体に障害を持った人々もみんなが気持ちよく暮らせる地域」は、(本県以外の居住経験なし)(57.9%)が他県での居住経験がある層よりも高くなっている。(図表2-5)

職業別にみると、「お年寄りも心や体に障害を持った人々もみんなが気持ちよく暮らせる地域」は(無職(専業主婦、学生を含む))(64.5%)が6割半ばと高い。(図表2-6)

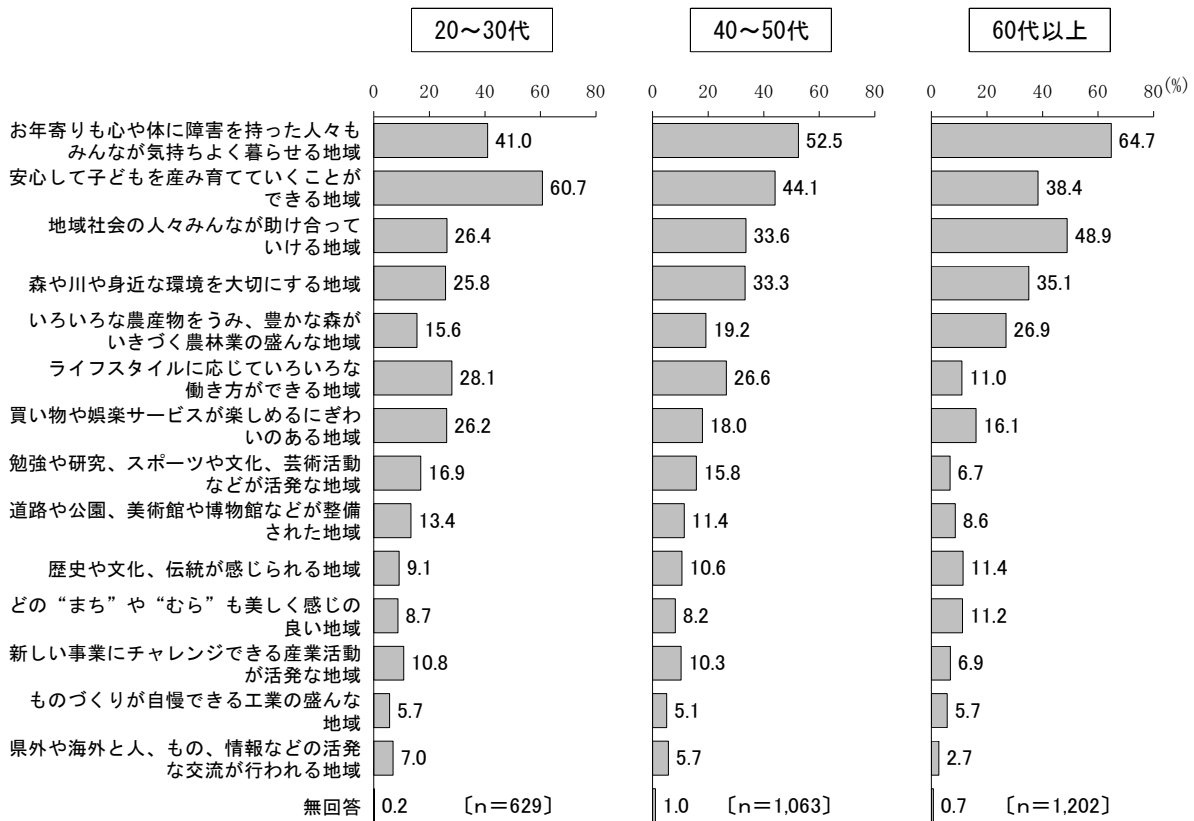
図表2-1 これからの望ましい「“とちぎ”の姿」



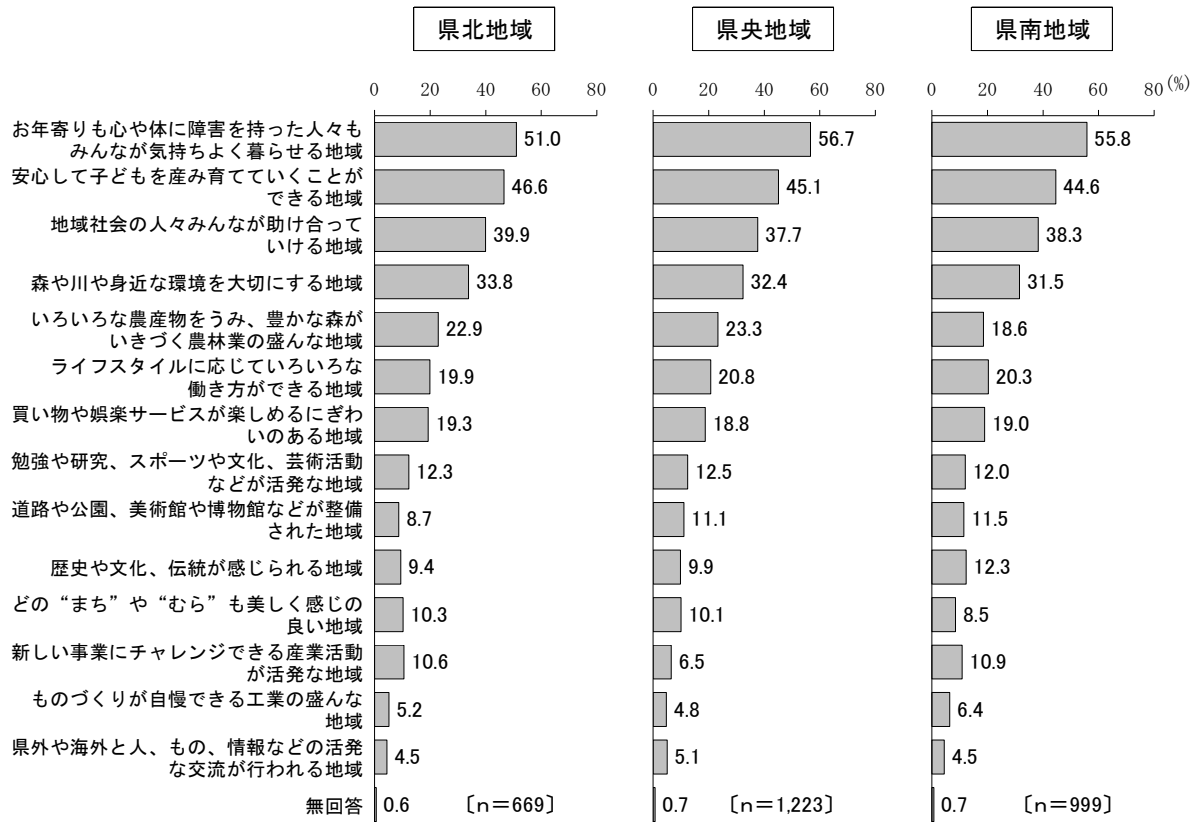
図表 2-2 これからの望ましい「とちぎ」の姿 性別



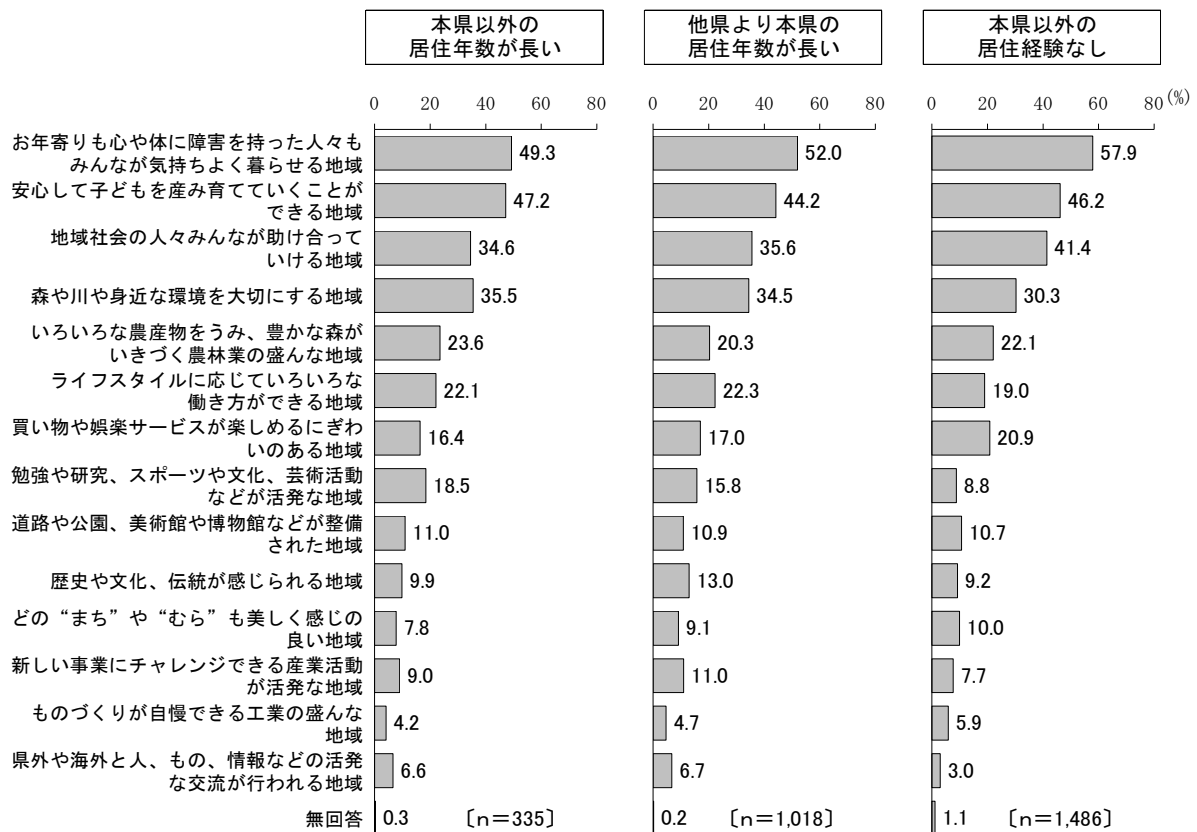
図表 2-3 これからの望ましい「とちぎ」の姿 年代別（3区分）



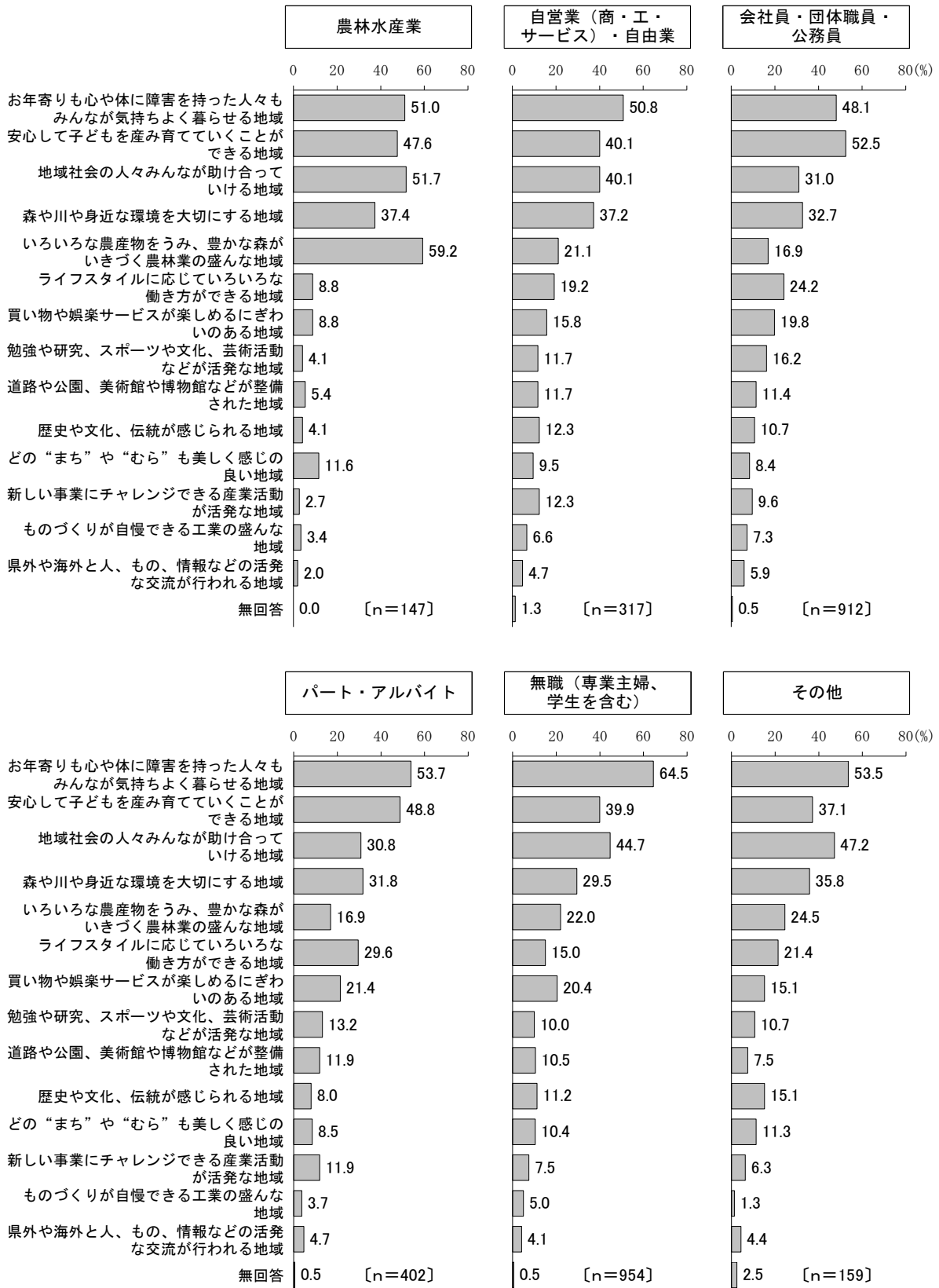
図表 2-4 これからの望ましい「とちぎ」の姿 地域別



図表 2-5 これからの望ましい「とちぎ」の姿 居住経験別



図表 2-6 これからの望ましい「とちぎ」の姿 職業別



3. 様々な取組の必要性に関する「重要度」、「満足度」、「県民と行政の役割分担」

(1) 県の取組に関する重要度について

県の様々な取組（5分類50項目）の内容が、対象者の暮らしにとって、どのくらい重要であるか「重要」、「どちらかといえば重要」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば重要でない」、「重要でない」の5段階で評価してもらった。

【全体の傾向】

「重要」と「どちらかといえば重要」を合わせた『重要（計）』の割合が高い項目を順に示すと以下のとおりである。上位10項目のうち「Ⅱ. いのちをやさしく見守る社会づくり」分野（17、12、13、18）と「Ⅰ. 知恵にあふれ心豊かな人づくり」分野（2、1、6、3）がそれぞれ4項目を占め、「Ⅴ. 安心の暮らしを支える環境づくり」分野（46）と「Ⅳ. 快適でにぎわいのある交流地域づくり」分野（27）がそれぞれ1項目となっている。（図表3-1）

- 1位「17 安心で良質な医療の確保」（92.7%）
- 2位「46 安全で安心なまちづくりの推進」（91.3%）
- 3位「2 心の教育の推進」（88.1%）
- 4位「12 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」（87.6%）
- 5位「13 高齢者の自立支援と生きがいの推進」（87.5%）
- 6位「1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実」（86.9%）
- 7位「18 食品の安全と生活衛生の確保」（85.4%）
- 8位「6 青少年を取り巻く環境の整備」（84.6%）
- 9位「3 健康な体づくりと学校安全教育の充実」（83.8%）
- 10位「27 安全で安定した水の供給」（83.2%）

【属性別】

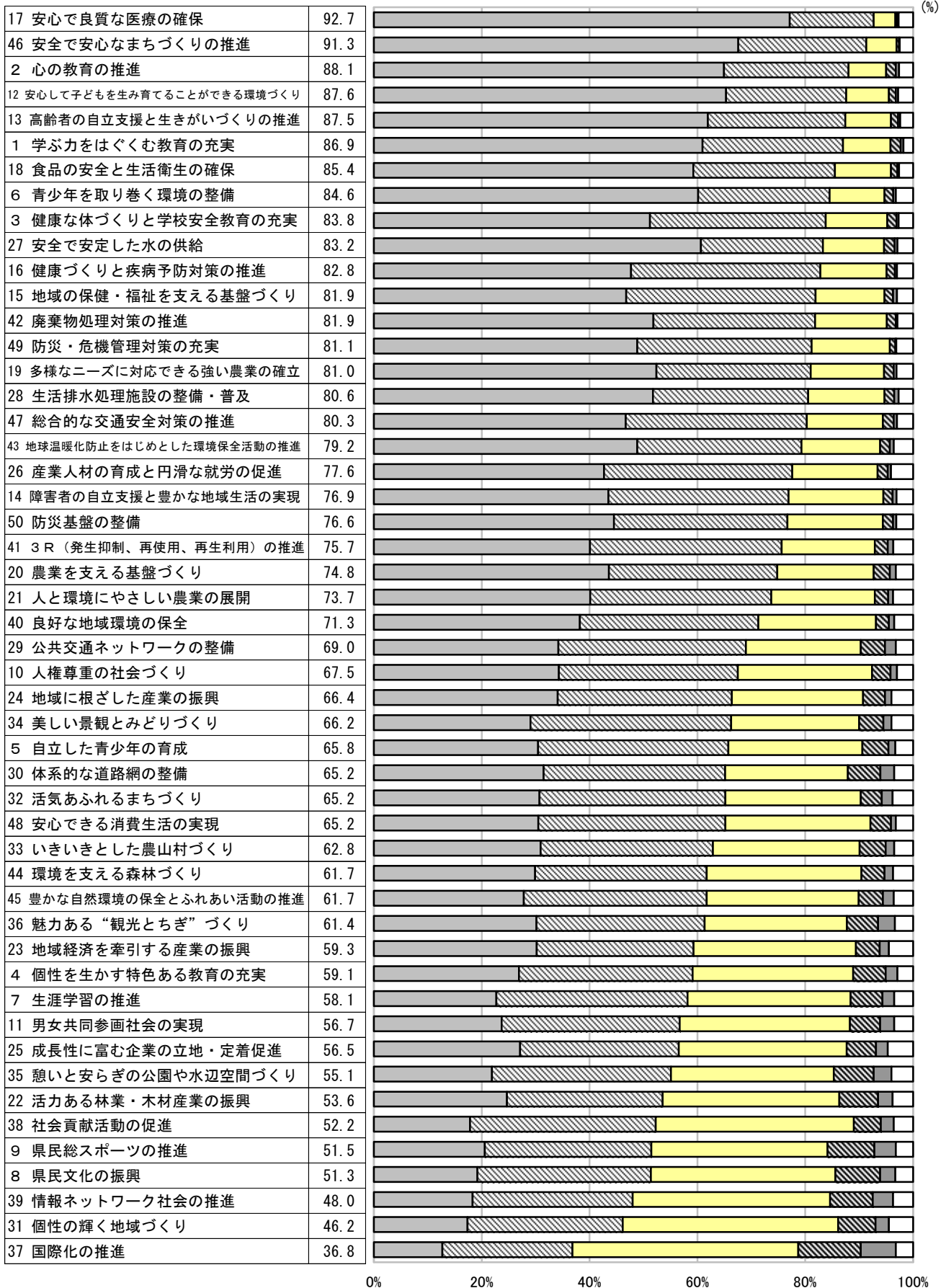
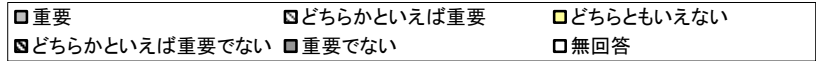
性別にみると、「17 安心で良質な医療の確保」は男女間に差はないが、最も高く9割を超えている。男女間で差がある項目は、「25 成長性に富む企業立地・定着促進」、「23 地域経済を牽引する産業振興」で男性が高くなっている。女性では「11 男女共同参画社会の実現」が男性より高くなっている。

年代別にみると、各年代とも「17 安心で良質な医療の確保」と「46 安全で安心なまちづくりの推進」は変わらずに高くなっている。8割を超える項目数は20～30代は10項目、40～50代は14項目で、60代以上となると21項目と年代が上がるごとに重要項目が増えていく傾向にある。

地域別にみると、9割を超える項目は県央、県南で「17 安心で良質な医療の確保」と「46 安全で安心なまちづくりの推進」で、県北は「17 安心で良質な医療の確保」である。

図表3-1 重要度 (1)「重要」及び「どちらかといえば重要」を回答した割合順

[n=2,903]



(2) 県の取組に関する満足度について

行政だけでなく、民間等の活動も含んだ様々な取組に対して、対象者がどのくらい満足しているか「満足」、「どちらかといえば満足」、「どちらともいえない」、「どちらかといえば不満」、「不満」の5段階で評価してもらった。

【全体の傾向】

「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせた『満足（計）』の割合が高い項目を順に示すと以下のとおりである。上位10項目のうち「IV. 快適でにぎわいのある交流地域づくり」分野が6項目（27、28、30、35、34、29）を占めている。（図表3-2）

- 1位「27 安全で安定した水の供給」（45.4%）
- 2位「28 生活排水処理施設の整備・普及」（35.7%）
- 3位「47 総合的な交通安全対策の推進」（23.5%）
- 4位「30 体系的な道路網の整備」（21.6%）
- 5位「35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり」（21.4%）
- 6位「8 県民文化の振興」（20.2%）
- 7位「16 健康づくりと疾病予防対策の推進」（20.0%）
- 8位「34 美しい景観とみどりづくり」（19.6%）
- 9位「29 公共交通ネットワークの整備」（19.1%）
- 10位「49 防災・危機管理対策の充実」（19.0%）

一方、「不満」と「どちらかといえば不満」を合わせた『不満（計）』の割合が高い項目は以下のとおりである。（図表3-3）

- 1位「17 安心して良質な医療の確保」（44.5%）
- 2位「2 心の教育の推進」（38.3%）
- 3位「42 廃棄物処理対策の推進」（38.1%）
- 4位「6 青少年を取り巻く環境の整備」（37.7%）
- 5位「13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進」（36.4%）
- 6位「12 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」（36.1%）
- 7位「26 産業人材の育成と円滑な就労の促進」（35.1%）
- 8位「46 安全で安心なまちづくりの推進」（34.6%）
- 9位「24 地域に根ざした産業の振興」（34.2%）
- 10位「1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実」（30.6%）

【属性別】

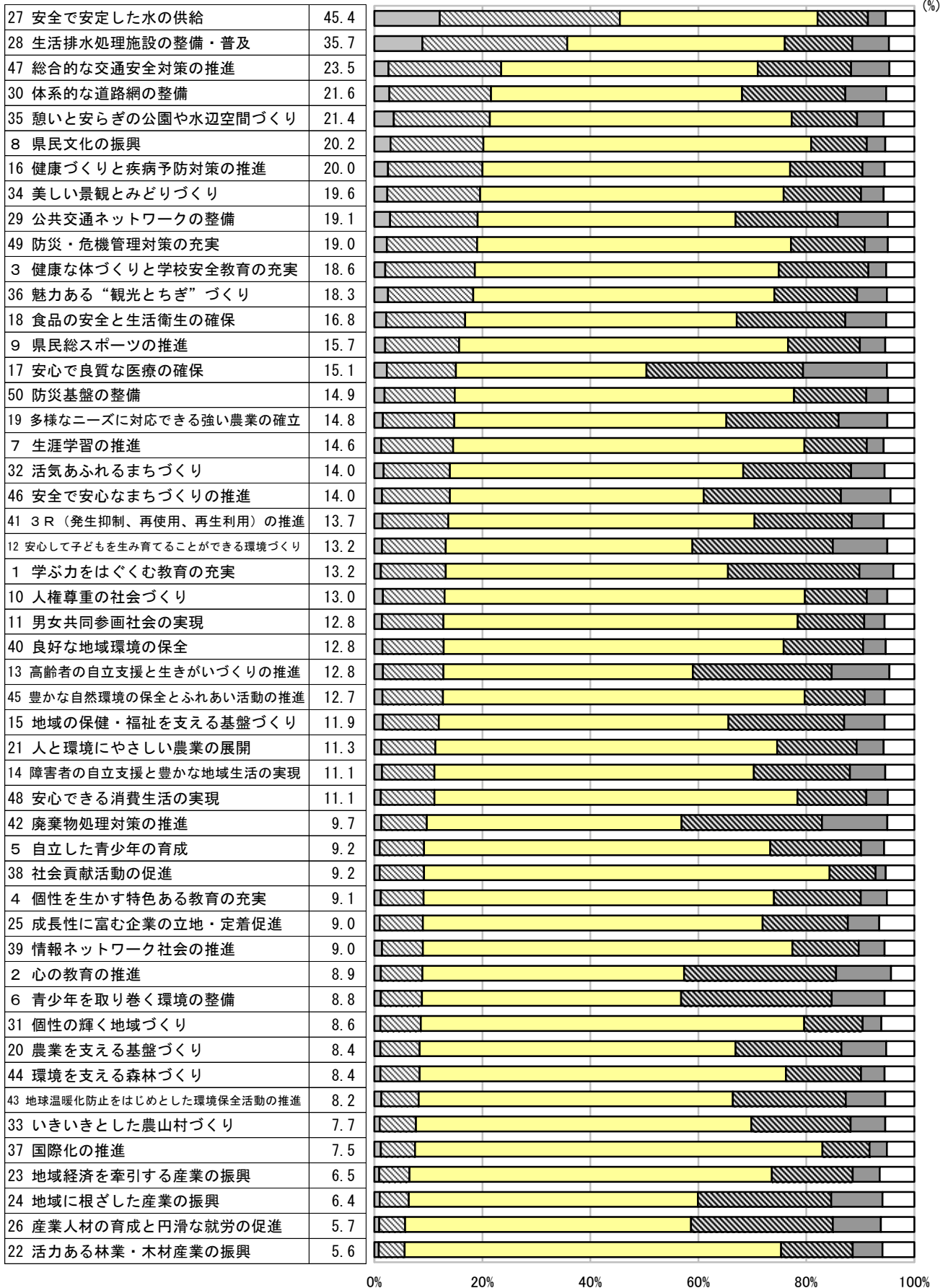
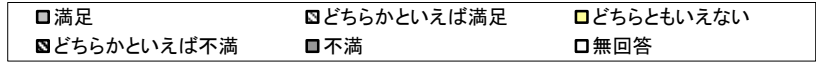
性別にみると、「27 安全で安定した水の供給」は男女間に差はないが、『満足（計）』は最も高く4割を超えている。男女間で差がある項目は、「20 農業を支える基盤づくり」、「23 地域経済を牽引する産業振興」で男性が高くなっている。

年代別にみると、20～30代、40～50代とも「27 安全で安定した水の供給」は4割前半だが、60代以上では約5割となっている。

地域別にみると、県央で「28 生活排水処理施設の整備・普及」が約4割と高くなっている。

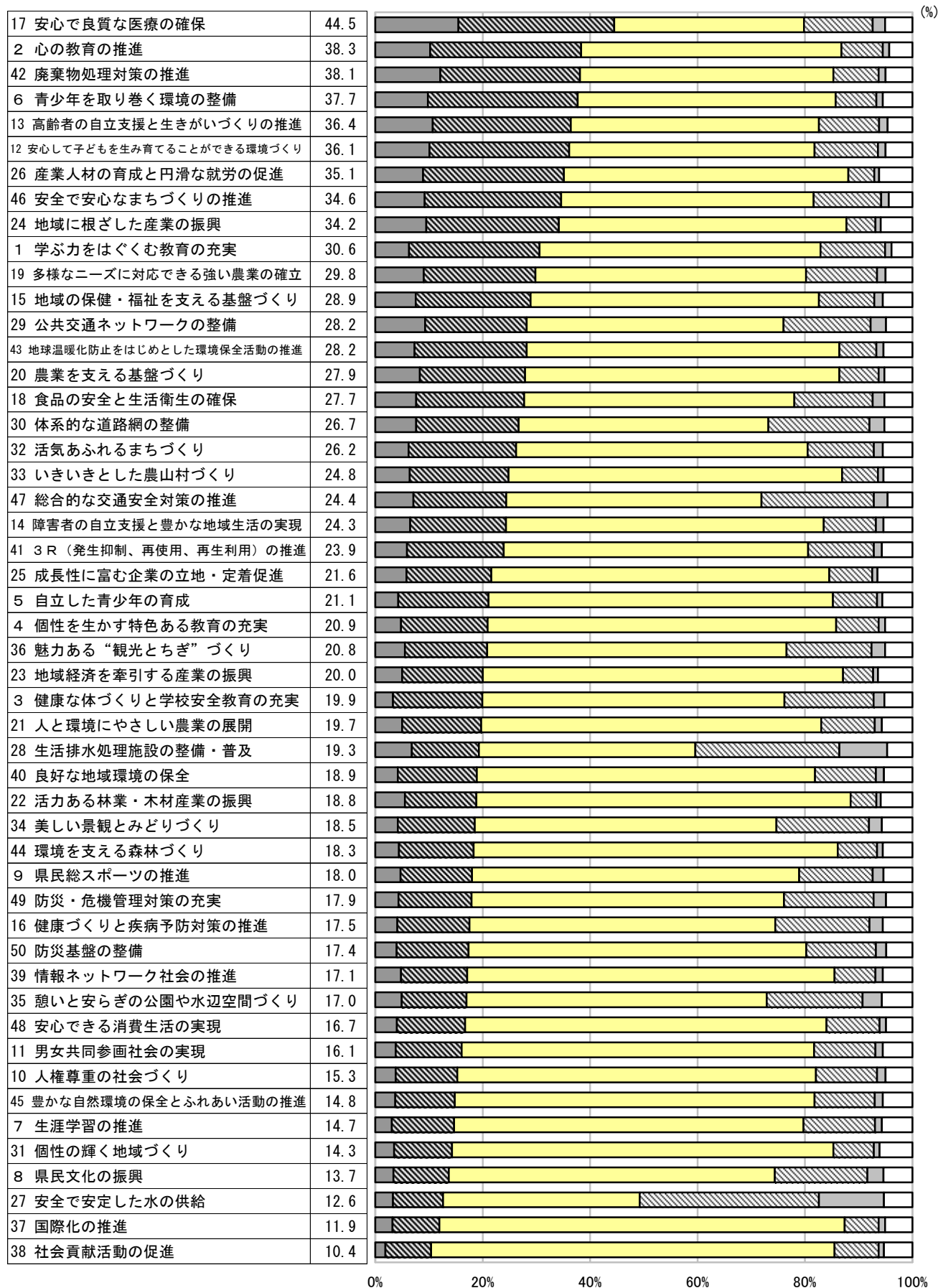
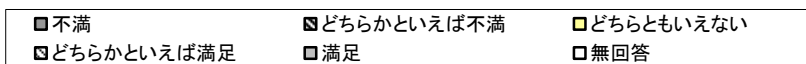
図表3-2 満足度 (1)「満足」及び「どちらかといえば満足」を回答した割合順

[n=2,903]



図表3-3 満足度 (2) 「不満」及び「どちらかといえば不満」を回答した割合順

[n=2,903]



(3) 重要度と満足度の属性別集計結果

問3のそれぞれの設問ごとに、重要度が高い分野、満足度が低い分野について、属性別にみると次のとおりとなる。(図表3-4)

図表3-4 属性別集計結果(第5順位まで)

区分	順位	問3(1)重要度(重要:高い)		順位	問3(2)満足度(不満:高い)	
		項目	割合(%)		項目	割合(%)
全体	1	17 安心で良質な医療の確保	92.7	1	17 安心で良質な医療の確保	44.5
	2	46 安全で安心なまちづくりの推進	91.3	2	2 心の教育の推進	38.3
	3	2 心の教育の推進	88.1	3	42 廃棄物処理対策の推進	38.1
	4	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	87.6	4	6 青少年を取り巻く環境の整備	37.7
	5	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	87.5	5	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	36.4
	6	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	86.9	6	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	36.1
	7	18 食品の安全と生活衛生の確保	85.4	7	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	35.1
	8	6 青少年を取り巻く環境の整備	84.6	8	46 安全で安心なまちづくりの推進	34.6
	9	3 健康な体づくりと学校安全教育の充実	83.8	9	24 地域に根ざした産業の振興	34.2
	10	27 安全で安定した水の供給	83.2	10	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	30.6
男性	1	17 安心で良質な医療の確保	93.1	1	17 安心で良質な医療の確保	46.6
	2	46 安全で安心なまちづくりの推進	92.6	2	2 心の教育の推進	42.8
	3	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	87.5	3	42 廃棄物処理対策の推進	42.2
	4	2 心の教育の推進	87.3	4	6 青少年を取り巻く環境の整備	40.5
	5	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	87.1	5	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	38.8
女性	1	17 安心で良質な医療の確保	92.5	1	17 安心で良質な医療の確保	42.8
	2	46 安全で安心なまちづくりの推進	90.4	2	6 青少年を取り巻く環境の整備	35.2
	3	2 心の教育の推進	89.0	3	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	34.6
	4	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	88.0	4	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	34.6
	5	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	87.9	5	42 廃棄物処理対策の推進	34.5
20~30代	1	17 安心で良質な医療の確保	92.3	1	17 安心で良質な医療の確保	50.2
	2	46 安全で安心なまちづくりの推進	91.7	2	46 安全で安心なまちづくりの推進	44.5
	3	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	90.0	3	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	42.0
	4	2 心の教育の推進	88.2	4	42 廃棄物処理対策の推進	39.2
	5	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	86.0	5	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	37.9
40~50代	1	17 安心で良質な医療の確保	94.1	1	17 安心で良質な医療の確保	49.7
	2	46 安全で安心なまちづくりの推進	92.3	2	2 心の教育の推進	40.9
	3	2 心の教育の推進	90.3	3	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	39.6
	4	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	89.6	4	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	39.3
	5	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	89.2	5	6 青少年を取り巻く環境の整備	38.4
60代以上	1	17 安心で良質な医療の確保	91.7	1	6 青少年を取り巻く環境の整備	38.6
	2	46 安全で安心なまちづくりの推進	90.3	2	2 心の教育の推進	38.0
	3	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	88.8	3	42 廃棄物処理対策の推進	37.3
	4	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	87.6	4	17 安心で良質な医療の確保	37.2
	5	18 食品の安全と生活衛生の確保	87.1	5	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	35.8
県北	1	17 安心で良質な医療の確保	93.4	1	17 安心で良質な医療の確保	51.5
	2	46 安全で安心なまちづくりの推進	88.8	2	42 廃棄物処理対策の推進	41.0
	3	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	87.1	3	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	36.2
	4	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	86.9	4	2 心の教育の推進	35.9
	5	2 心の教育の推進	86.3	5	6 青少年を取り巻く環境の整備	35.8
県央	1	17 安心で良質な医療の確保	91.8	1	17 安心で良質な医療の確保	40.6
	2	46 安全で安心なまちづくりの推進	91.4	2	2 心の教育の推進	40.3
	3	2 心の教育の推進	88.9	3	6 青少年を取り巻く環境の整備	38.9
	4	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	87.7	4	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	37.1
	5	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	87.5	5	42 廃棄物処理対策の推進	36.6
県南	1	17 安心で良質な医療の確保	93.4	1	17 安心で良質な医療の確保	44.6
	2	46 安全で安心なまちづくりの推進	93.1	2	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	38.7
	3	2 心の教育の推進	88.7	3	42 廃棄物処理対策の推進	38.0
	4	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	88.6	4	6 青少年を取り巻く環境の整備	37.7
	5	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	88.0	5	2 心の教育の推進	37.6

また、重要度が低い分野、満足度が高い分野について、属性別にみると次のとおりとなる。(図表3-5)

図表3-5 属性別集計結果(第5順位まで)

区分	順位	問3(1)重要度(重要でない:高い)		順位	問3(2)満足度(満足:高い)	
		項目	割合(%)		項目	割合(%)
全体	1	37 国際化の推進	18.1	1	27 安全で安定した水の供給	45.4
	2	9 県民総スポーツの推進	12.7	2	28 生活排水処理施設の整備・普及	35.7
	3	39 情報ネットワーク社会の推進	11.7	3	47 総合的な交通安全対策の推進	23.5
	4	8 県民文化の振興	11.1	4	30 体系的な道路網の整備	21.6
	5	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	10.7	5	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	21.4
	6	22 活力ある林業・木材産業の振興	9.9	6	8 県民文化の振興	20.2
	7	31 個性の輝く地域づくり	9.4	7	16 健康づくりと疾病予防対策の推進	20.0
	8	36 魅力ある“観光とちぎ”づくり	8.9	8	34 美しい景観とみどりづくり	19.6
	9	30 体系的な道路網の整備	8.6	9	29 公共交通ネットワークの整備	19.1
	10	4 個性を生かす特色ある教育の充実	8.2	10	49 防災・危機管理対策の充実	19.0
男性	1	37 国際化の推進	17.4	1	27 安全で安定した水の供給	47.4
	2	9 県民総スポーツの推進	14.6	2	28 生活排水処理施設の整備・普及	37.5
	3	8 県民文化の振興	12.8	3	47 総合的な交通安全対策の推進	24.0
	4	39 情報ネットワーク社会の推進	12.2	4	30 体系的な道路網の整備	23.6
	5	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	12.0	5	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	22.1
女性	1	37 国際化の推進	18.8	1	27 安全で安定した水の供給	43.7
	2	39 情報ネットワーク社会の推進	11.3	2	28 生活排水処理施設の整備・普及	34.1
	3	9 県民総スポーツの推進	11.0	3	47 総合的な交通安全対策の推進	23.0
	4	31 個性の輝く地域づくり	9.9	4	16 健康づくりと疾病予防対策の推進	21.4
	5	22 活力ある林業・木材産業の振興	9.6	5	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	20.8
20~30代	1	37 国際化の推進	22.7	1	27 安全で安定した水の供給	44.1
	2	9 県民総スポーツの推進	16.5	2	28 生活排水処理施設の整備・普及	30.2
	3	8 県民文化の振興	15.9	3	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	23.7
	4	22 活力ある林業・木材産業の振興	15.3	4	30 体系的な道路網の整備	21.2
	5	39 情報ネットワーク社会の推進	14.6	5	47 総合的な交通安全対策の推進	20.8
40~50代	1	37 国際化の推進	22.3	1	27 安全で安定した水の供給	42.1
	2	9 県民総スポーツの推進	15.2	2	28 生活排水処理施設の整備・普及	33.0
	3	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	14.6	3	47 総合的な交通安全対策の推進	21.1
	4	39 情報ネットワーク社会の推進	13.4	4	30 体系的な道路網の整備	20.9
	5	8 県民文化の振興	12.7	5	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	19.1
60代以上	1	37 国際化の推進	11.9	1	27 安全で安定した水の供給	49.2
	2	39 情報ネットワーク社会の推進	8.6	2	28 生活排水処理施設の整備・普及	41.1
	3	9 県民総スポーツの推進	8.5	3	47 総合的な交通安全対策の推進	27.0
	4	8 県民文化の振興	7.2	4	16 健康づくりと疾病予防対策の推進	24.8
	5	31 個性の輝く地域づくり	6.2	5	8 県民文化の振興	24.3
県北	1	37 国際化の推進	16.7	1	27 安全で安定した水の供給	45.6
	2	9 県民総スポーツの推進	12.6	2	28 生活排水処理施設の整備・普及	29.3
	3	8 県民文化の振興	11.2	3	47 総合的な交通安全対策の推進	21.8
	4	39 情報ネットワーク社会の推進	10.8	4	8 県民文化の振興	21.6
	5	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	10.6	5	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	20.5
県央	1	37 国際化の推進	18.5	1	27 安全で安定した水の供給	47.6
	2	9 県民総スポーツの推進	14.2	2	28 生活排水処理施設の整備・普及	40.3
	3	39 情報ネットワーク社会の推進	12.6	3	47 総合的な交通安全対策の推進	24.2
	4	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	11.3	4	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	23.2
	5	8 県民文化の振興	11.3	5	30 体系的な道路網の整備	22.5
県南	1	37 国際化の推進	18.5	1	27 安全で安定した水の供給	42.6
	2	39 情報ネットワーク社会の推進	11.3	2	28 生活排水処理施設の整備・普及	34.5
	3	9 県民総スポーツの推進	11.1	3	47 総合的な交通安全対策の推進	23.8
	4	22 活力ある林業・木材産業の振興	10.9	4	30 体系的な道路網の整備	21.4
	5	8 県民文化の振興	10.8	5	29 公共交通ネットワークの整備	20.3

(4) 重要度と満足度の居住経験別比較表

また、県外居住経験別に、重要度、満足度についてみると次のとおりとなる。ここでは、県外居住経験の有無により一定の意識差が認められるものを着色して表示した。(図表3-6)

図表3-6 居住経験別<重要度(重要:高い)>比較表

順位	県内居住経験のみ	(%)	他県より本県の居住年数が長い	(%)	本県以外の居住年数が長い	(%)
1	17 安心で良質な医療の確保	91.5	17 安心で良質な医療の確保	94.9	46 安全で安心なまちづくりの推進	95.8
2	46 安全で安心なまちづくりの推進	90.2	46 安全で安心なまちづくりの推進	92.3	17 安心で良質な医療の確保	93.7
3	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	87.1	2 心の教育の推進	90.9	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	88.1
4	2 心の教育の推進	86.7	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	89.7	2 心の教育の推進	87.8
5	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	86.6	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	89.5	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	87.5
6	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	85.4	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	89.0	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	87.5
7	18 食品の安全と生活衛生の確保	85.3	6 青少年を取り巻く環境の整備	87.0	6 青少年を取り巻く環境の整備	86.3
8	27 安全で安定した水の供給	84.5	18 食品の安全と生活衛生の確保	86.4	18 食品の安全と生活衛生の確保	86.3
9	3 健康な体づくりと学校安全教育の充実	83.8	3 健康な体づくりと学校安全教育の充実	84.8	16 健康づくりと疾病予防対策の推進	85.9
10	6 青少年を取り巻く環境の整備	83.1	42 廃棄物処理対策の推進	83.0	15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり	84.7
11	16 健康づくりと疾病予防対策の推進	82.9	16 健康づくりと疾病予防対策の推進	82.3	27 安全で安定した水の供給	84.5
12	15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり	82.2	27 安全で安定した水の供給	81.7	49 防災・危機管理対策の充実	84.4
13	42 廃棄物処理対策の推進	81.3	15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり	81.3	3 健康な体づくりと学校安全教育の充実	83.0
14	47 総合的な交通安全対策の推進	81.3	19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立	81.3	47 総合的な交通安全対策の推進	82.9
15	49 防災・危機管理対策の充実	81.1	49 防災・危機管理対策の充実	81.1	43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	82.6
16	19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立	81.0	43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	80.8	42 廃棄物処理対策の推進	82.3
17	28 生活排水処理施設の整備・普及	80.9	28 生活排水処理施設の整備・普及	80.3	19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立	81.2
18	43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	78.0	47 総合的な交通安全対策の推進	78.8	28 生活排水処理施設の整備・普及	80.9
19	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	77.5	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	78.1	41 3R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	80.3
20	14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	76.7	41 3R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	77.7	29 公共交通ネットワークの整備	79.1
21	50 防災基盤の整備	76.5	14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	77.4	50 防災基盤の整備	78.8
22	20 農業を支える基盤づくり	74.7	50 防災基盤の整備	76.0	14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	78.0
23	21 人と環境にやさしい農業の展開	74.0	20 農業を支える基盤づくり	75.9	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	77.3
24	41 3R(発生抑制、再使用、再生利用)の推進	73.6	21 人と環境にやさしい農業の展開	72.6	21 人と環境にやさしい農業の展開	77.0
25	40 良好な地域環境の保全	71.1	40 良好な地域環境の保全	71.7	20 農業を支える基盤づくり	74.4
26	48 安心できる消費生活の実現	67.4	29 公共交通ネットワークの整備	69.0	40 良好な地域環境の保全	72.2
27	29 公共交通ネットワークの整備	67.3	10 人権尊重の社会づくり	68.0	32 活気あふれるまちづくり	70.1
28	10 人権尊重の社会づくり	67.2	24 地域に根ざした産業の振興	68.0	24 地域に根ざした産業の振興	69.5
29	5 自立した青少年の育成	66.1	34 美しい景観とみどりづくり	67.0	34 美しい景観とみどりづくり	69.5
30	32 活気あふれるまちづくり	65.6	30 体系的な道路網の整備	66.4	10 人権尊重の社会づくり	68.6
31	34 美しい景観とみどりづくり	65.6	5 自立した青少年の育成	65.1	30 体系的な道路網の整備	68.3
32	24 地域に根ざした産業の振興	65.0	33 いきいきとした農山村づくり	64.3	5 自立した青少年の育成	67.7
33	30 体系的な道路網の整備	64.3	32 活気あふれるまちづくり	63.9	7 生涯学習の推進	67.5
34	33 いきいきとした農山村づくり	62.5	45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	63.0	48 安心できる消費生活の実現	66.8
35	44 環境を支える森林づくり	61.5	48 安心できる消費生活の実現	62.1	4 個性を生かす特色ある教育の充実	66.0
36	36 魅力ある“観光とちぎ”づくり	61.4	23 地域経済を牽引する産業の振興	62.0	45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	65.3
37	45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	60.5	44 環境を支える森林づくり	62.0	44 環境を支える森林づくり	62.9
38	4 個性を生かす特色ある教育の充実	59.1	36 魅力ある“観光とちぎ”づくり	61.4	33 いきいきとした農山村づくり	62.4
39	7 生涯学習の推進	57.2	7 生涯学習の推進	57.5	36 魅力ある“観光とちぎ”づくり	62.3
40	23 地域経済を牽引する産業の振興	57.2	4 個性を生かす特色ある教育の充実	57.3	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	62.1
41	25 成長性に富む企業の立地・定着促進	56.6	11 男女共同参画社会の実現	56.7	11 男女共同参画社会の実現	60.9
42	11 男女共同参画社会の実現	55.9	25 成長性に富む企業の立地・定着促進	56.7	23 地域経済を牽引する産業の振興	60.6
43	22 活力ある林業・木材産業の振興	54.0	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	54.9	22 活力ある林業・木材産業の振興	58.3
44	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	53.7	38 社会貢献活動の促進	52.5	8 県民文化の振興	58.2
45	9 県民総スポーツの推進	52.2	22 活力ある林業・木材産業の振興	51.8	25 成長性に富む企業の立地・定着促進	56.5
46	38 社会貢献活動の促進	51.4	8 県民文化の振興	51.2	38 社会貢献活動の促進	56.1
47	8 県民文化の振興	50.4	9 県民総スポーツの推進	50.4	9 県民総スポーツの推進	54.3
48	39 情報ネットワーク社会の推進	48.5	39 情報ネットワーク社会の推進	47.3	39 情報ネットワーク社会の推進	48.9
49	31 個性の輝く地域づくり	46.7	31 個性の輝く地域づくり	45.8	31 個性の輝く地域づくり	46.6
50	37 国際化の推進	34.7	37 国際化の推進	39.2	37 国際化の推進	39.1
	平均	69.8	平均	70.6	平均	72.6

図表3-7 居住経験別＜満足度（不満：高い）＞比較表

順位	県内居住経験のみ	(%)	他県より本県の居住年数が長い	(%)	本県以外の居住年数が長い	(%)
1	17 安心で良質な医療の確保	42.2	17 安心で良質な医療の確保	47.0	17 安心で良質な医療の確保	48.9
2	6 青少年を取り巻く環境の整備	35.0	2 心の教育の推進	45.3	29 公共交通ネットワークの整備	42.7
3	2 心の教育の推進	34.9	42 廃棄物処理対策の推進	43.7	42 廃棄物処理対策の推進	40.9
4	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	34.4	6 青少年を取り巻く環境の整備	41.6	6 青少年を取り巻く環境の整備	40.6
5	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	33.9	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	40.2	46 安全で安心なまちづくりの推進	39.7
6	42 廃棄物処理対策の推進	33.9	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	40.1	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	36.1
7	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	33.5	24 地域に根ざした産業の振興	39.5	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	35.2
8	46 安全で安心なまちづくりの推進	31.8	46 安全で安心なまちづくりの推進	38.0	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	34.9
9	24 地域に根ざした産業の振興	31.2	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	37.6	43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	34.7
10	19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立	28.2	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	34.4	47 総合的な交通安全対策の推進	33.7
11	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	27.8	19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立	33.1	24 地域に根ざした産業の振興	33.5
12	15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり	27.6	20 農業を支える基盤づくり	32.4	2 心の教育の推進	33.2
13	18 食品の安全と生活衛生の確保	27.5	43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	31.2	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	32.9
14	30 体系的な道路網の整備	26.6	15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり	30.0	15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり	32.2
15	20 農業を支える基盤づくり	26.3	29 公共交通ネットワークの整備	28.7	32 活気あふれるまちづくり	31.1
16	29 公共交通ネットワークの整備	25.1	18 食品の安全と生活衛生の確保	28.3	4 個性を生かす特色ある教育の充実	30.2
17	43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	24.8	32 活気あふれるまちづくり	28.1	41 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進	29.3
18	32 活気あふれるまちづくり	24.4	33 いきいきとした農山村づくり	28.0	18 食品の安全と生活衛生の確保	28.7
19	33 いきいきとした農山村づくり	23.3	30 体系的な道路網の整備	27.7	19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立	27.7
20	14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	23.0	14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	25.7	14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	27.2
21	41 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進	22.7	47 総合的な交通安全対策の推進	24.7	30 体系的な道路網の整備	26.9
22	47 総合的な交通安全対策の推進	22.3	41 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進	24.6	28 生活排水処理施設の整備・普及	24.2
23	5 自立した青少年の育成	19.9	3 健康な体づくりと学校安全教育の充実	23.9	25 成長性に富む企業の立地・定着促進	23.6
24	25 成長性に富む企業の立地・定着促進	19.9	25 成長性に富む企業の立地・定着促進	23.6	36 魅力ある“観光とちぎ”づくり	23.6
25	36 魅力ある“観光とちぎ”づくり	19.7	5 自立した青少年の育成	23.4	20 農業を支える基盤づくり	23.0
26	28 生活排水処理施設の整備・普及	19.2	4 個性を生かす特色ある教育の充実	23.2	33 いきいきとした農山村づくり	23.0
27	23 地域経済を牽引する産業の振興	18.5	21 人と環境にやさしい農業の展開	22.7	44 環境を支える森林づくり	22.4
28	22 活力ある林業・木材産業の振興	18.2	36 魅力ある“観光とちぎ”づくり	21.9	23 地域経済を牽引する産業の振興	21.8
29	3 健康な体づくりと学校安全教育の充実	18.0	23 地域経済を牽引する産業の振興	21.7	40 良好な地域環境の保全	21.2
30	34 美しい景観とみどりづくり	18.0	9 県民総スポーツの推進	21.0	16 健康づくりと疾病予防対策の推進	20.9
31	40 良好な地域環境の保全	17.9	49 防災・危機管理対策の充実	20.4	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	20.3
32	21 人と環境にやさしい農業の展開	17.6	40 良好な地域環境の保全	20.1	5 自立した青少年の育成	20.0
33	39 情報ネットワーク社会の推進	17.4	22 活力ある林業・木材産業の振興	19.7	21 人と環境にやさしい農業の展開	20.0
34	4 個性を生かす特色ある教育の充実	17.2	44 環境を支える森林づくり	19.5	34 美しい景観とみどりづくり	20.0
35	50 防災基盤の整備	17.1	34 美しい景観とみどりづくり	18.9	39 情報ネットワーク社会の推進	19.7
36	44 環境を支える森林づくり	16.9	28 生活排水処理施設の整備・普及	18.6	49 防災・危機管理対策の充実	19.4
37	48 安心できる消費生活の実現	16.9	16 健康づくりと疾病予防対策の推進	18.4	48 安心できる消費生活の実現	19.1
38	9 県民総スポーツの推進	16.4	11 男女共同参画社会の実現	17.6	50 防災基盤の整備	19.1
39	16 健康づくりと疾病予防対策の推進	16.4	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	17.3	8 県民文化の振興	18.8
40	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	16.2	50 防災基盤の整備	17.2	22 活力ある林業・木材産業の振興	18.8
41	49 防災・危機管理対策の充実	16.0	10 人権尊重の社会づくり	16.4	7 生涯学習の推進	18.5
42	11 男女共同参画社会の実現	14.4	39 情報ネットワーク社会の推進	16.3	3 健康な体づくりと学校安全教育の充実	18.2
43	10 人権尊重の社会づくり	14.1	45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	16.3	11 男女共同参画社会の実現	18.2
44	31 個性の輝く地域づくり	13.9	7 生涯学習の推進	16.0	45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	18.2
45	27 安全で安定した水の供給	13.7	48 安心できる消費生活の実現	15.7	10 人権尊重の社会づくり	17.3
46	45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	13.3	8 県民文化の振興	15.6	9 県民総スポーツの推進	16.4
47	7 生涯学習の推進	13.2	31 個性の輝く地域づくり	14.7	31 個性の輝く地域づくり	16.4
48	8 県民文化の振興	11.4	37 国際化の推進	12.9	27 安全で安定した水の供給	16.1
49	37 国際化の推進	10.8	38 社会貢献活動の促進	12.5	37 国際化の推進	14.7
50	38 社会貢献活動の促進	9.3	27 安全で安定した水の供給	10.2	38 社会貢献活動の促進	9.9
	平均	21.8	平均	25.3	平均	25.7

(5) 県民と行政の役割分担のあり方について

各取組について、県民（企業等を含む）と行政の役割分担は今後どうあるべきかを、「行政が中心となって取り組むべき」、「県民と行政がより密接に連携し取り組むべき」、「県民が主体的に取り組むべき」の中から選択してもらった。

【全体の傾向】

「行政が中心となって取り組むべき」の割合が高い項目は以下のとおりである。上位10項目のうち「Ⅳ. 快適でにぎわいのある交流地域づくり」分野が4項目（28、27、30、29）を占め、「Ⅴ. 安心の暮らしを支える環境づくり」分野が3項目（40、50、42）となっている。（図表3-8）

- 1位「17 安心で良質な医療の確保」（58.7%）
- 2位「28 生活排水処理施設の整備・普及」（58.2%）
- 3位「27 安全で安定した水の供給」（56.4%）
- 4位「30 体系的な道路網の整備」（52.2%）
- 5位「40 良好な地域環境の保全」（50.6%）
- 6位「50 防犯基盤の整備」（49.4%）
- 7位「29 公共交通ネットワークの整備」（46.8%）
- 8位「4 個性を生かす特色ある教育の充実」（42.3%）
- 8位「42 廃棄物処理対策の推進」（42.3%）
- 10位「25 成長性に富む企業の立地・定着促進」（41.3%）

「県民と行政がより密接に連携し取り組むべき」の割合が高い項目は以下のとおりである。上位10項目のうち「Ⅰ. 知恵にあふれ心豊かな人づくり」分野が5項目（2、3、6、1、5）を占め、「Ⅲ. 確かな技術と創造性に富む産業づくり」分野が3項目（21、19、20）となっている。（図表3-9）

- 1位「2 心の教育の推進」（71.6%）
- 2位「3 健康な体づくりと学校安全教育の充実」（67.0%）
- 3位「6 青少年を取り巻く環境の整備」（66.6%）
- 4位「21 人と環境にやさしい農業の展開」（64.0%）
- 5位「46 安全で安心なまちづくりの推進」（63.6%）
- 6位「1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実」（63.4%）
- 7位「19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立」（62.9%）
- 8位「5 自立した青少年の育成」（62.8%）
- 9位「20 農業を支える基盤づくり」（62.6%）
- 10位「33 いきいきとした農山村づくり」（62.5%）

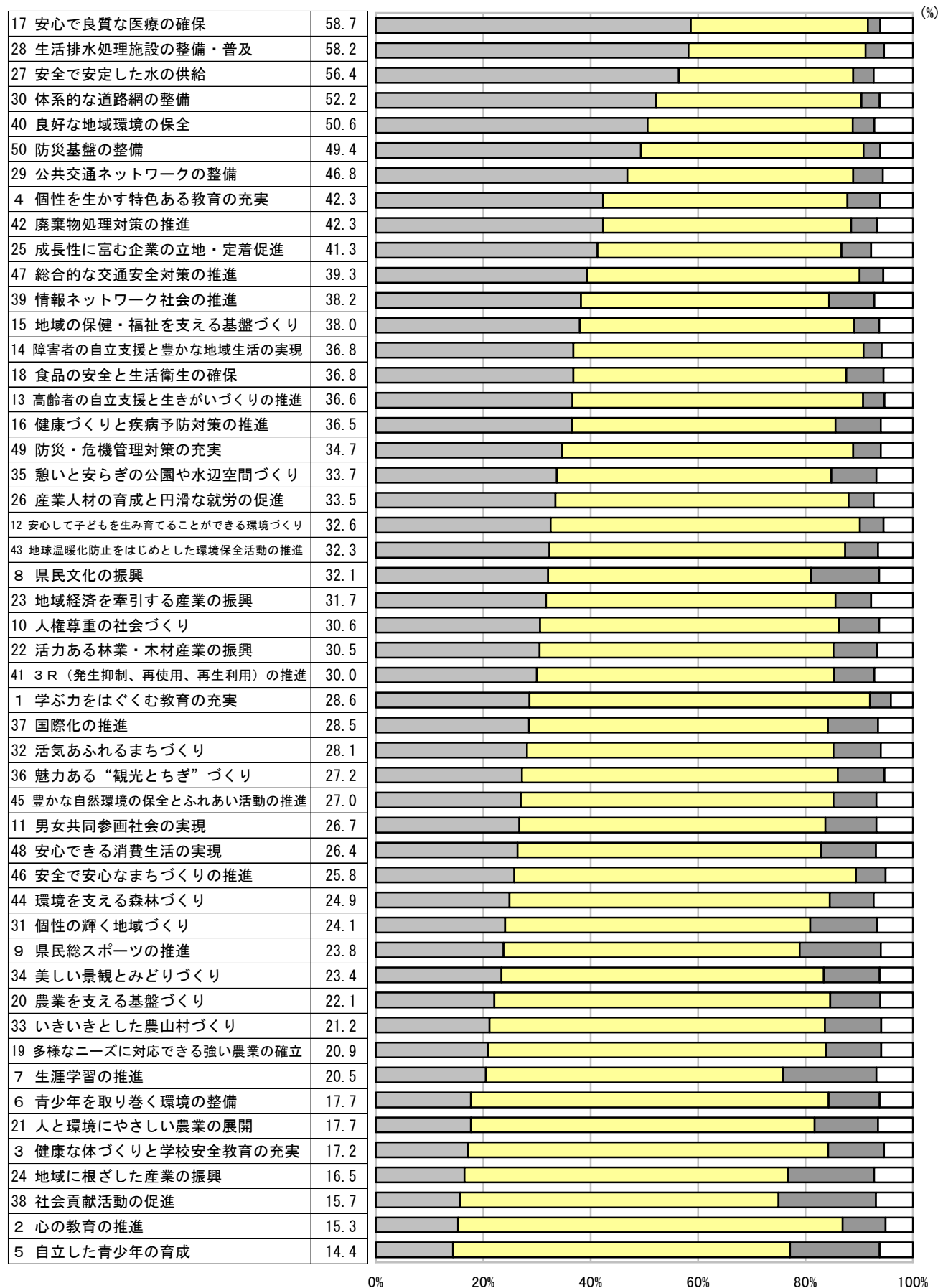
「県民が主体的に取り組むべき」の割合が高い項目は以下のとおりである。上位10項目のうち「Ⅰ. 知恵にあふれ心豊かな人づくり」分野が5項目（7、5、9、8、3）、「Ⅳ. 快適でにぎわいのある交流地域づくり」分野が4項目（38、31、33、34）となっている。（図表3-10）

- 1位「38 社会貢献活動の促進」（18.1%）
- 2位「7 生涯学習の推進」（17.4%）
- 3位「5 自立した青少年の育成」（16.7%）
- 4位「24 地域に根ざした産業の振興」（16.0%）
- 5位「9 県民総スポーツの推進」（15.1%）
- 6位「8 県民文化の振興」（12.7%）
- 7位「31 個性の輝く地域づくり」（12.4%）
- 8位「21 人と環境にやさしい農業の展開」（11.8%）
- 9位「33 いきいきとした農山村づくり」（10.5%）
- 10位「34 美しい景観とみどりづくり」（10.4%）
- 10位「3 健康な体づくりと学校安全教育の充実」（10.4%）

図表 3-8 県民と行政の役割分担 (1) 「行政が中心となって取り組むべき」を回答した割合順

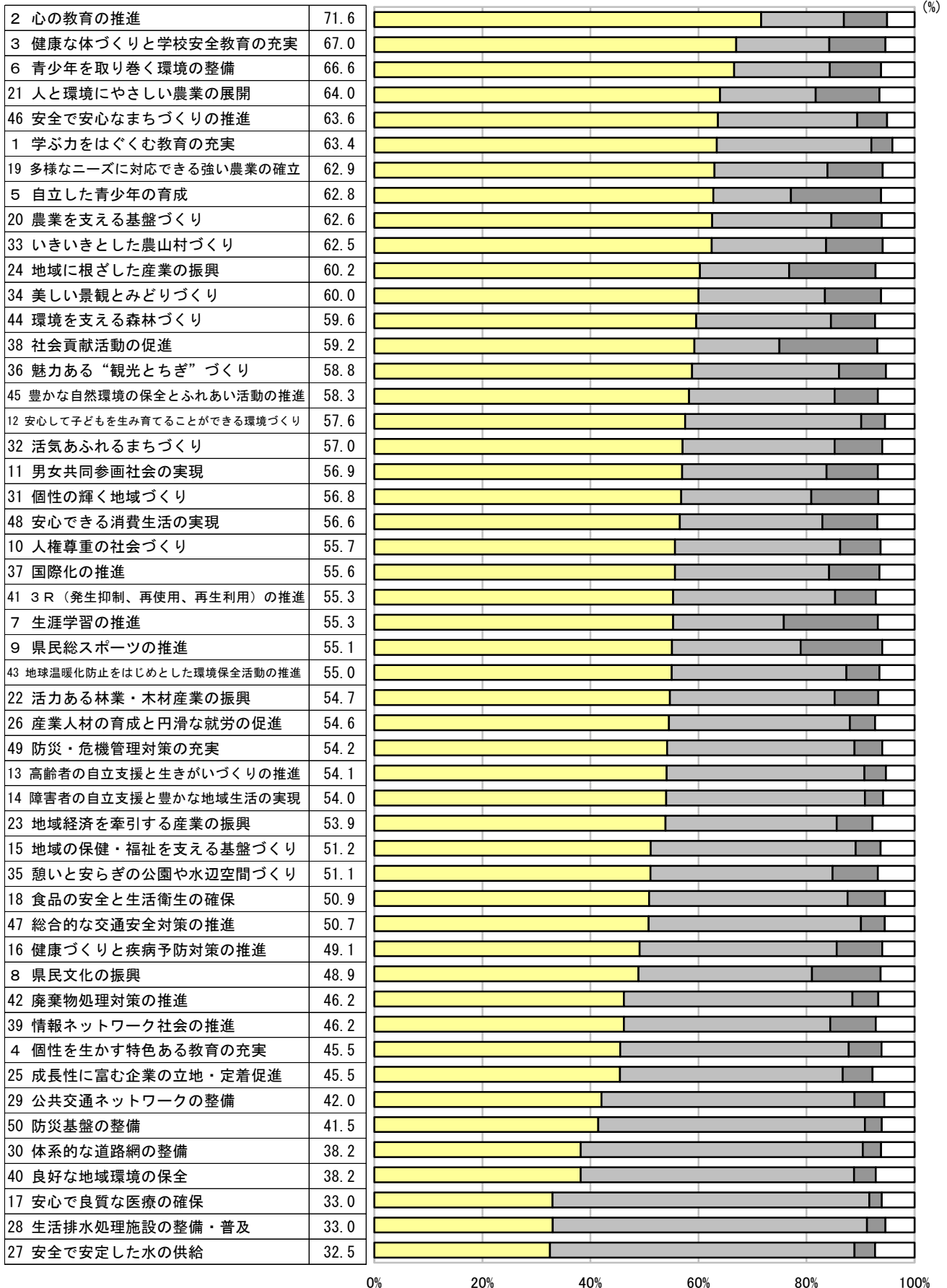
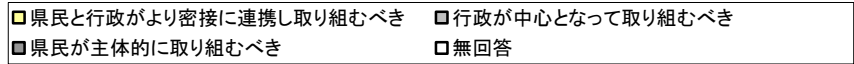
[n=2,903]

行政が中心となって取り組むべき
 県民と行政がより密接に連携し取り組むべき
 県民が主体的に取り組むべき
 無回答



図表 3-9 県民と行政の役割分担 (2)「県民と行政がより密接に連携し取り組むべき」を回答した割合順

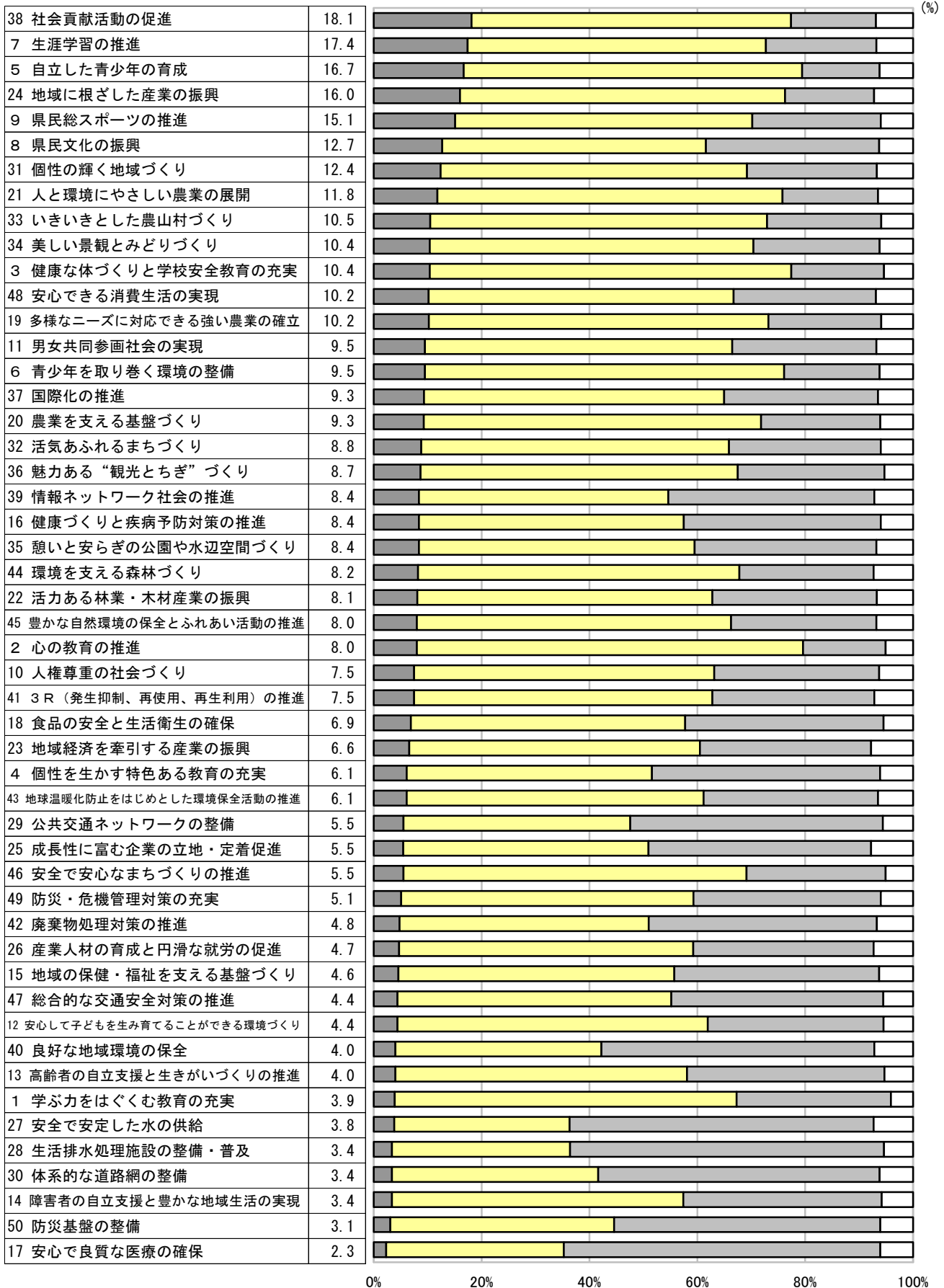
[n=2,903]



図表3-10 県民と行政の役割分担 (3)「県民が主体的に取り組むべき」を回答した割合順

[n=2,903]

県民が主体的に取り組むべき
 県民と行政がより密接に連携し取り組むべき
 行政が中心となって取り組むべき
 無回答



(6) 重要度・満足度・役割分担の相関

(1)における結果を、以下の方法により「重要度」として数値化した。なお、無回答の場合は数値化の際の母数から除外した。

【重要度（5段階区分）】	【重要度：評価結果の数値化】
1. 重要	= 4点
2. どちらかといえば重要	= 3点
3. どちらともいえない	= 2点
4. どちらかといえば重要でない	= 1点
5. 重要でない	= 0点

(2)における結果を、以下の方法により「満足度」として数値化した。なお、無回答の場合は数値化の際の母数から除外した。

【満足度（5段階区分）】	【満足度：評価結果の数値化】
1. 満足	= 4点
2. どちらかといえば満足	= 3点
3. どちらともいえない	= 2点
4. どちらかといえば不満	= 1点
5. 不満	= 0点

(5)における結果を、以下の方法により「役割分担」として数値化した。なお、無回答の場合は数値化の際の母数から除外した。（+値は行政中心、-値は県民中心になる）

【役割分担（3段階区分）】	【役割分担：評価結果の数値化】
1. 行政が中心となって取り組むべき	= 1点
2. 県民と行政がより密接に連携し取り組むべき	= 0点
3. 県民が主体的に取り組むべき	= -1点

これらの結果については、次ページ以下のとおりである。

【重要度と満足度】

個別の分野について、重要度を横軸に、満足度を縦軸に設定し、プロットしたものが「図表3-11」である。重要度が最も高く満足度が最も低い項目は「17 安心して良質な医療の確保」となっており、早急な対策が求められていることがわかる。以下、満足度が平均未満の項目を重要度が高い順にあげると、「46 安全で安心なまちづくりの推進」、「12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり」、「2 心の教育の推進」、「13 高齢者の自立支援と生きがいつくりの推進」の順となっている。重要度も満足度も高い項目としては、「27 安全で安定した水の供給」が突出しており、その他には「28 生活排水処理施設の整備・普及」などとなっている。重要度が低く満足度が高い項目は、「37 国際化の推進」、「8 県民文化の振興」などとなっている。重要度も満足度も低い項目は、「22 活力ある林業・木材産業の振興」、「24 地域に根ざした産業の振興」などとなっている。

重要度と満足度の関係から、各施策は4つのグループに分類できる。分類Aは、満足度が高く重要度が低い領域を「現状維持領域」、分類Bは、満足度が高く重要度も高い領域を「ニーズ充足領域」、分類Cは、満足度が低く重要度も低い領域を「選択的課題領域」、分類Dは、満足度が低く重要度が高い領域を「優先的課題領域」として考えることができる。

【重要度と役割分担】

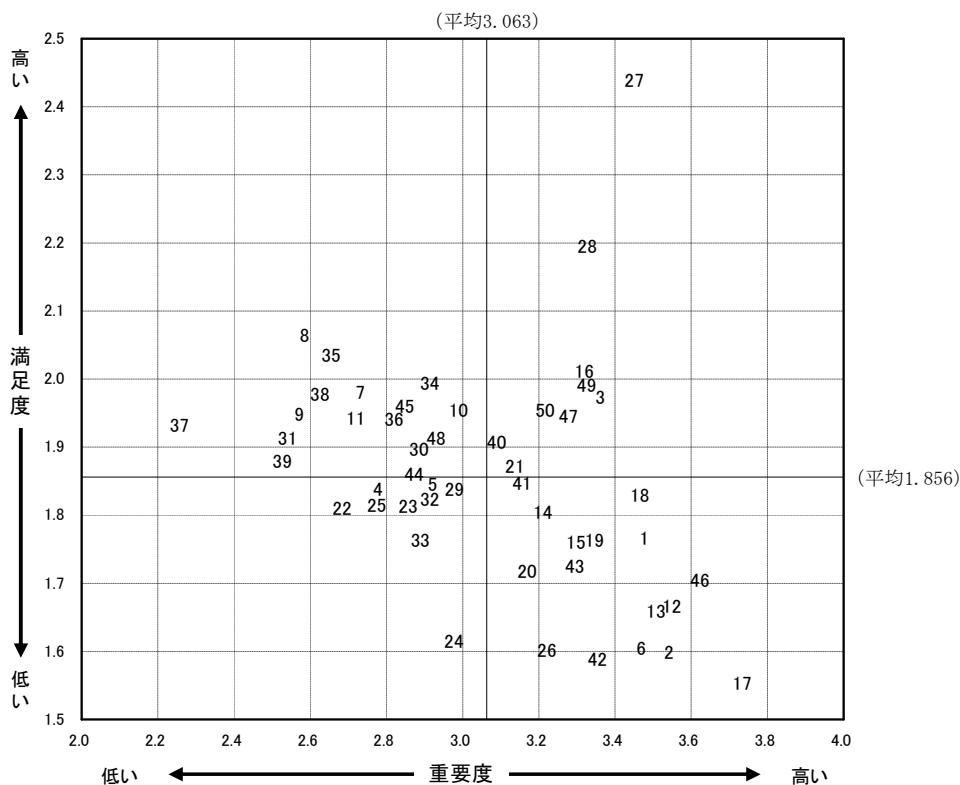
個別の分野について、重要度を縦軸に、役割分担を横軸に設定し、プロットしたものが「図表3-12」である。横軸についてみると、5と38以外はすべてプラスの領域に位置し、行政の関わりが必要とされている様子がわかる。特に17、27、28に関してはその傾向が強い。一方、「I. 知恵にあふれ心豊かな人づくり」分野の項目（2、3、5、6、7、9）は、官民連携の傾向が強くなっている。縦軸を加味した場合、最も行政の力が必要とされ、かつ重要度も高いのが17である。また、県民と行政の連携が求められ、重要度も高いものが2や6となっている。29や30は行政の力が必要とされている割には、重要度は平均以下である。37は他に比べて重要度の低さが目立っている。

【満足度と役割分担】

個別の分野について、満足度を縦軸に、役割分担を横軸に設定し、プロットしたものが「図表3-13」である。重要度が最も高かった17の満足度は最も低く、27と28の満足度が突出して高い。

行政への期待が大きい30、40、50は平均以上の満足度を得ているが、42の満足度は低くなっている。一方、官民連携の傾向が強い38、7、3、9の満足度は比較的高いが、24、2、6の満足度は低い水準にある。

図表 3-11 重要度と満足度の相関図



A 重要度が平均より低く、満足度が平均より高い

10 人権尊重の社会づくり
48 安心できる消費生活の実現
34 美しい景観とみどりづくり
30 体系的な道路網の整備
44 環境を支える森林づくり
45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進
36 魅力ある“観光とちぎ”づくり
7 生涯学習の推進
11 男女共同参画社会の実現
35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり
38 社会貢献活動の促進
8 県民文化の振興
9 県民総スポーツの推進
31 個性の輝く地域づくり
39 情報ネットワーク社会の推進
37 国際化の推進

B 重要度、満足度とも平均より高い

27 安全で安定した水の供給
3 健康な体づくりと学校安全教育の充実
28 生活排水処理施設の整備・普及
49 防災・危機管理対策の充実
16 健康づくりと疾病予防対策の推進
47 総合的な交通安全対策の推進
50 防災基盤の整備
21 人と環境にやさしい農業の展開
40 良好な地域環境の保全

満足度平均

C 重要度、満足度とも平均より低い

29 公共交通ネットワークの整備
24 地域に根ざした産業の振興
5 自立した青少年の育成
32 活気あふれるまちづくり
33 いきいきとした農山村づくり
23 地域経済を牽引する産業の振興
4 個性を生かす特色ある教育の充実
25 成長性に富む企業の立地・定着促進
22 活力ある林業・木材産業の振興

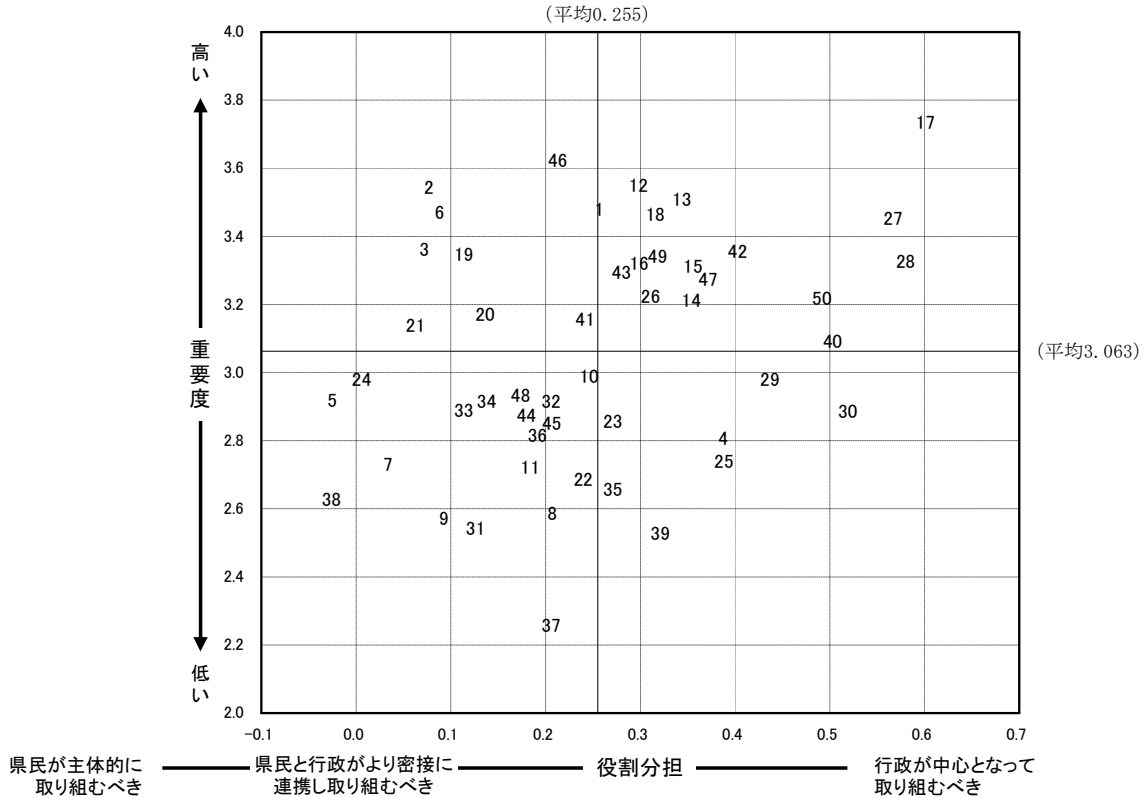
D 重要度が平均より高く、満足度が平均より低い

17 安心して良質な医療の確保
46 安全で安心なまちづくりの推進
12 安心して子どもを生き育てることができる環境づくり
2 心の教育の推進
13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進
1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実
6 青少年を取り巻く環境の整備
18 食品の安全と生活衛生の確保
42 廃棄物処理対策の推進
19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立
15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり
43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進
26 産業人材の育成と円滑な就労の促進
14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現
20 農業を支える基盤づくり
41 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進

重要度平均

注) 各分野の並びは重要度が高いものが上となっている。

図表 3-12 重要度と役割分担の相関図



A 重要度平均より高い、県民主体～連携

46 安全で安心なまちづくりの推進
2 心の教育の推進
6 青少年を取り巻く環境の整備
3 健康な体づくりと学校安全教育の充実
19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立
20 農業を支える基盤づくり
41 3R（発生抑制、再利用、再生利用）の推進
21 人と環境にやさしい農業の展開

B 重要度平均より高い、連携～行政中心

17 安心して良質な医療の確保
12 安心して子どもを育てることができる環境づくり
13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進
1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実
18 食品の安全と生活衛生の確保
27 安全で安定した水の供給
42 廃棄物処理対策の推進
28 生活排水処理施設の整備・普及
49 防災・危機管理対策の充実
16 健康づくりと疾病予防対策の推進
15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり
43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進
47 総合的な交通安全対策の推進
26 産業人材の育成と円滑な就労の促進
50 防災基盤の整備
14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現
40 良好な地域環境の保全

重要度平均

C 重要度平均より低い、県民主体～連携

10 人権尊重の社会づくり
24 地域に根ざした産業の振興
48 安心して暮らす消費生活の実現
5 自立した青少年の育成
32 活気あふれるまちづくり
34 美しい景観とみどりづくり
33 いきいきとした農山村づくり
44 環境を支える森林づくり
45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進
36 魅力ある“観光とちぎ”づくり
7 生涯学習の推進
11 男女共同参画社会の実現
22 活力ある林業・木材産業の振興
38 社会貢献活動の促進
8 県民文化の振興
9 県民総スポーツの推進
31 個性の輝く地域づくり
37 国際化の推進

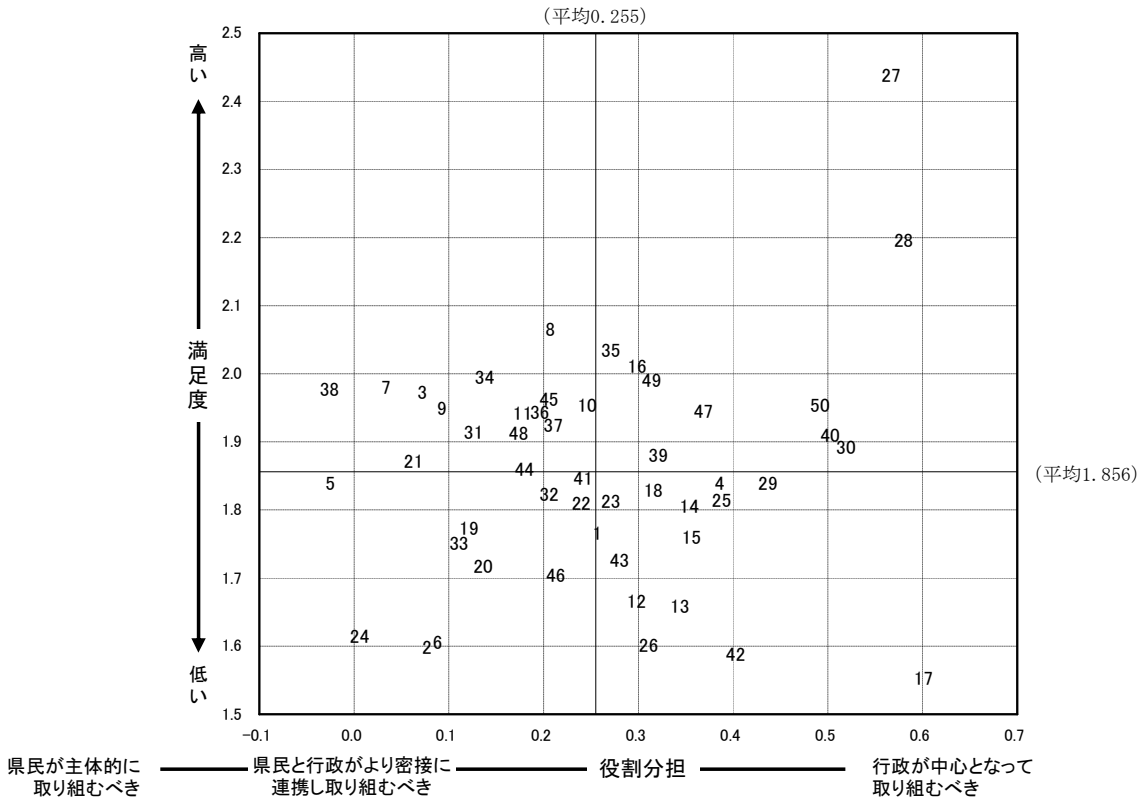
D 重要度平均より低い、連携～行政中心

29 公共交通ネットワークの整備
30 体系的な道路網の整備
23 地域経済を牽引する産業の振興
4 個性を生かす特色ある教育の充実
25 成長性に富む企業の立地・定着促進
35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり
39 情報ネットワーク社会の推進

役割分担平均

注) 各分野の並びは重要度が高いものが上となっている。

図表 3-13 満足度と役割分担の相関図



A 満足度平均より高い、県民主体～連携

8 県民文化の振興
34 美しい景観とみどりづくり
7 生涯学習の推進
38 社会貢献活動の促進
3 健康な体づくりと学校安全教育の充実
45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進
10 人権尊重の社会づくり
9 県民総スポーツの推進
36 魅力ある“観光とちぎ”づくり
11 男女共同参画社会の実現
37 国際化の推進
31 個性の輝く地域づくり
48 安心できる消費生活の実現
21 人と環境にやさしい農業の展開
44 環境を支える森林づくり

B 満足度平均より高い、連携～行政中心

27 安全で安定した水の供給
28 生活排水処理施設の整備・普及
35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり
16 健康づくりと疾病予防対策の推進
49 防災・危機管理対策の充実
50 防災基盤の整備
47 総合的な交通安全対策の推進
40 良好な地域環境の保全
30 体系的な道路網の整備
39 情報ネットワーク社会の推進

満足度平均

C 満足度平均より低い、県民主体～連携

41 3R（発生抑制、再利用、再生利用）の推進
5 自立した青少年の育成
32 活気あふれるまちづくり
22 活力ある林業・木材産業の振興
19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立
33 いきいきとした農山村づくり
20 農業を支える基盤づくり
46 安全で安心なまちづくりの推進
24 地域に根ざした産業の振興
6 青少年を取り巻く環境の整備
2 心の教育の推進

D 満足度平均より低い、連携～行政中心

4 個性を生かす特色ある教育の充実
29 公共交通ネットワークの整備
18 食品の安全と生活衛生の確保
25 成長性に富む企業の立地・定着促進
23 地域経済を牽引する産業の振興
14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現
1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実
15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり
43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進
12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり
13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進
26 産業人材の育成と円滑な就労の促進
42 廃棄物処理対策の推進
17 安心して良質な医療の確保

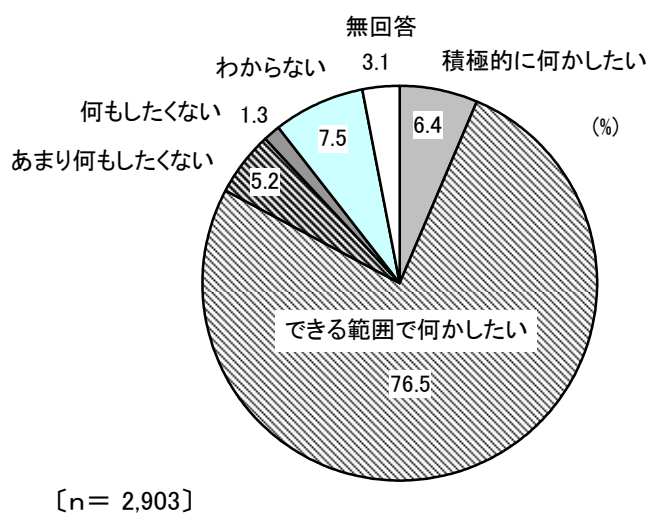
役割分担平均

注) 各分野の並びは満足度が高いものが上となっている。

4. よりよい“とちぎ”づくりに向けた今後の行動、参加意向

全体で見ると、「できる範囲で何かしたい」(76.5%)が7割台半ばを占め、これに「積極的に何かしたい」(6.4%)を合わせた「何かしたい(合計)」(82.9%)は8割を超えている。(図表4-1)

図表4-1 よりよい“とちぎ”づくりに向けた今後の行動、参加意向



5. 経年変化の比較

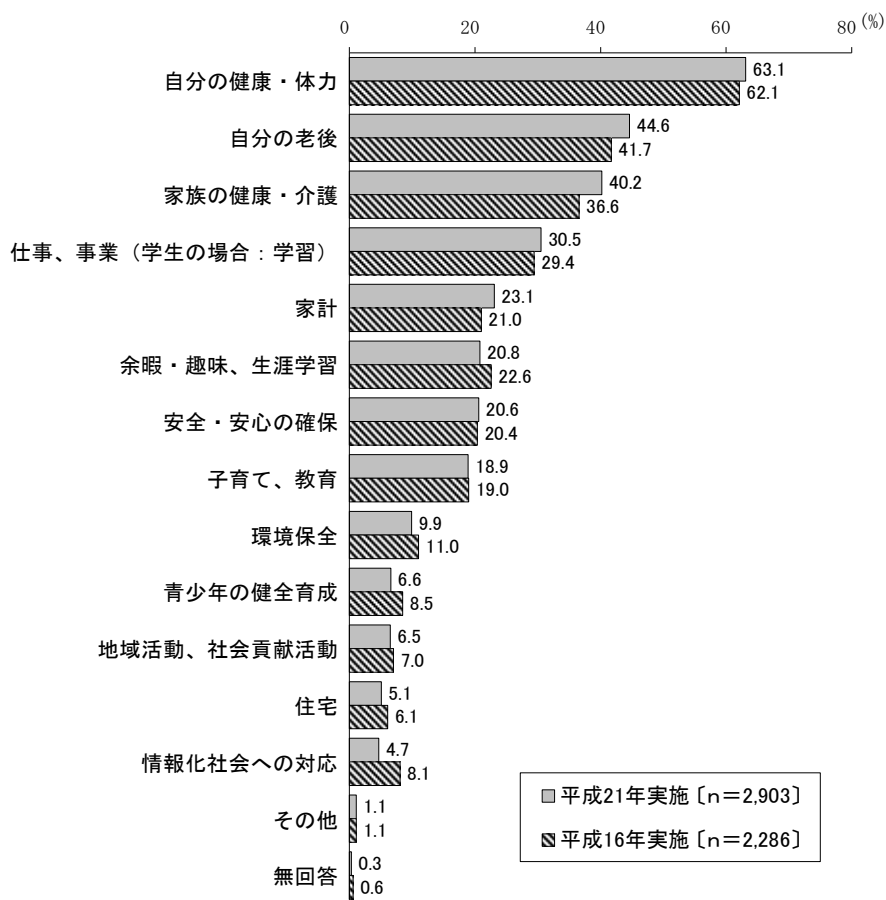
前回調査（平成16年に実施した県民意向調査）の結果と比較した。

なお、様々な取組の必要性に関する「重要度」、「満足度」の比較については、前回の項目と一致しないため、主たる取組が類似している項目と比較した。

(1) 生活の関心事

各項目の順位は前回とほとんど変わっていない。「自分の老後」と「家族の健康・介護」の割合が前回よりも高くなっており、逆に「青少年の健全育成」と「情報化社会への対応」は前回よりも低い。（図表5-1）

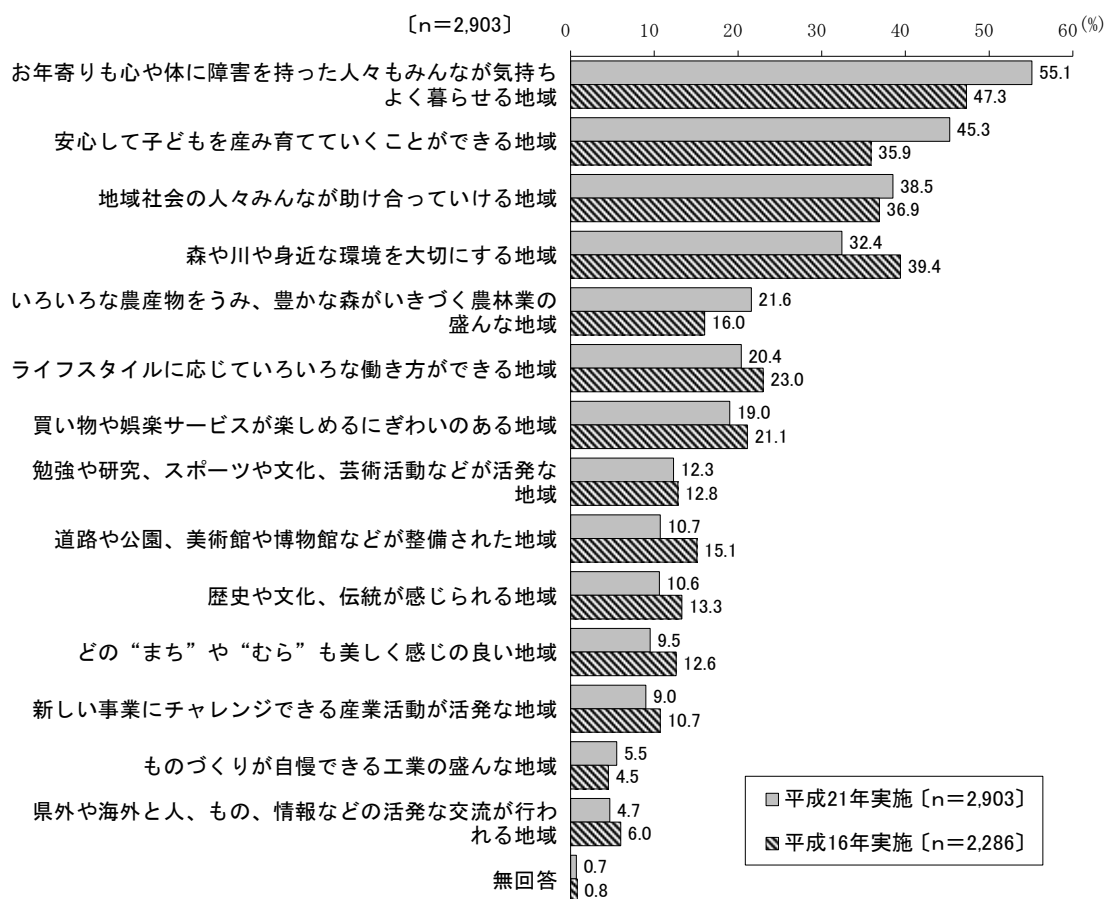
図表5-1 生活の関心事 経年変化の比較



(2) これからの望ましい「とちぎ」の姿

前回と同様に「お年寄りも心や体に障害を持った人々もみんなが気持ちよく暮らせる地域」が最も高い。第2位は前回4位の「安心して子どもを産み育てていくことができる地域」で、今回は上位2項目の割合が特に高くなっている。一方、第6位以下の項目の多くは前回よりも割合が低くなっている。(図表5-2)

図表5-2 これからの望ましい「とちぎ」の姿 経年変化の比較



(3) 様々な取組の必要性に関する「重要度」、「満足度」、「県民と行政の役割分担」

① 県の取組に関する重要度について（重要：高い）

前回上位10位以内だった6項目（17、46、2、1、6、3）が今回も10位以内となっている。「13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進」は18位から5位へと大幅に順位が上がっている。4位の「12 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり」、7位の「18 食品の安全と生活衛生の確保」が、それぞれ13位、27位から順位を上げている。「27 安全で安定した水の供給」の前回55位から10位への上昇は、「期待していること」と「重要であること」の認知が必ずしも一致しないことに起因している。（図表5-3）

図表5-3 県民意向調査における項目＜重要度（重要：高い）＞経年比較表

順位	21世紀の“とちぎ”づくりに関する県民意向調査 (平成16年実施)	期待 高い	順位	これからの“とちぎ”づくりに関する県民意向調査 (平成21年実施)	重要 高い	
7	18 医療サービス	66.6	→	1	17 安心して良質な医療の確保	92.7
2	48 犯罪のない地域づくり	71.6	→	2	46 安全で安心なまちづくりの推進	91.3
1	2 心の教育	75.3	→	3	2 心の教育の推進	88.1
13	14 子育て環境	60.4	→	4	12 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり	87.6
18	15 高齢者の自立と生きがいづくり	57.8	→	5	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	87.5
5	1 基礎学力の向上	68.5	→	6	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	86.9
27	52 食品の安全性確保	52.0	→	7	18 食品の安全と生活衛生の確保	85.4
4	6 青少年の健全育成	69.7	→	8	6 青少年を取り巻く環境の整備	84.6
9	5 快適でゆとりある教育環境	61.2	→	9	3 健康な体づくりと学校安全教育の充実	83.8
55	38 安全で安定した水の供給	34.5	→	10	27 安全で安定した水の供給	83.2
32	17 健康づくり	48.9	→	11	16 健康づくりと疾病予防対策の推進	82.8
22	20 保健・医療・福祉を支える人材の育成	55.6	→	12	15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり	81.9
5	54 廃棄物対策	67.5	→	12	42 廃棄物処理対策の推進	81.9
41	47 災害対策	43.0	→	14	49 防災・危機管理対策の充実	81.1
43	24 農産物の安定供給	41.3	→	15	19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立	81.0
34	40 下水道の整備	48.6	→	16	28 生活排水処理施設の整備・普及	80.6
15	50 交通安全の確保	59.7	→	17	47 総合的な交通安全対策の推進	80.3
22	56 地球温暖化の防止	55.6	→	18	43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	79.2
3	36 雇用の安定と職業能力の向上	70.0	→	19	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	77.6
21	16 障害者の自立と社会参加	55.7	→	20	14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	76.9
41	47 災害対策	43.0	→	21	50 防災基盤の整備	76.6
6	54 廃棄物対策	67.5	→	22	41 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進	75.7
43	25 特色ある農産物の生産	41.3	→	23	20 農業を支える基盤づくり	74.8
26	26 安全・安心な農産物の生産と流通	52.5	→	24	21 人と環境にやさしい農業の展開	73.7
19	53 環境汚染の防止	57.7	→	25	40 良好な地域環境の保全	71.3
16	44 公共交通ネットワーク	58.6	→	26	29 公共交通ネットワークの整備	69.0
57	22 人権を尊重する社会づくり	30.1	→	27	10 人権尊重の社会づくり	67.5
11	32 地域に密着した産業の育成	60.9	→	28	24 地域に根ざした産業の振興	66.4
36	42 美しい景観づくり	48.0	→	29	34 美しい景観とみどりづくり	66.2
4	6 青少年の健全育成	69.7	→	30	5 自立した青少年の育成	65.8
33	45 道路ネットワーク	48.7	→	31	30 体系的な道路網の整備	65.2
20	41 快適で活力あるまちづくり	57.5	→	31	32 活気あふれるまちづくり	65.2
30	51 消費生活の安定	49.4	→	31	48 安心できる消費生活の実現	65.2
48	27 食と農の理解促進	38.6	→	34	33 いきいきとした農山村づくり	62.8
37	55 豊かな自然環境の保全	47.8	→	35	45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	61.7
42	29 森林の整備	42.8	→	35	44 環境を支える森林づくり	61.7
25	34 観光の振興	52.8	→	37	36 魅力ある“観光とちぎ”づくり	61.4
53	30 新事業の創出	35.7	→	38	23 地域経済を牽引する産業の振興	59.3
12	4 個性を生かせる多様な学校教育	60.6	→	39	4 個性を生かす特色ある教育の充実	59.1
38	7 生涯学習	45.3	→	40	7 生涯学習の推進	58.1
51	23 男女共同参画社会づくり	36.8	→	41	11 男女共同参画社会の実現	56.7
46	33 企業誘致	40.5	→	42	25 成長性に富む企業の立地・定着促進	56.5
45	43 公園や水辺の整備	41.0	→	43	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	55.1
56	28 林業の活性化	34.4	→	44	22 活力ある林業・木材産業の振興	53.6
39	10 社会貢献活動	44.9	→	45	38 社会貢献活動の促進	52.2
47	9 県民総スポーツ	39.0	→	46	9 県民総スポーツの推進	51.5
52	8 県民文化	36.4	→	47	8 県民文化の振興	51.3
50	46 情報ネットワーク	38.0	→	48	39 情報ネットワーク社会の推進	48.0
53	39 適切な土地利用	35.7	→	49	31 個性の輝く地域づくり	46.2
49	13 国際化への対応	38.5	→	50	37 国際化の推進	36.8

② 県の取組に関する満足度について（満足：高い）

前回上位10位以内だった7項目（27、28、30、35、8、16、34）が今回も10位以内となっている。重要度10位の「27 安全で安定した水の供給」が満足度では前回同様の1位であり、重要度と満足度両方での10位以内はこの項目のみである。「47 総合的な交通安全対策の推進」は15位から3位、「29 公共交通ネットワークの整備」は24位から9位へ上昇し、交通関係の満足度が増していることがわかる。（図表5-4）

図表5-4 県民意向調査における項目＜満足度（満足：高い）＞経年比較表

順位	21世紀の“とちぎ”づくりに関する県民意向調査 (平成16年実施)	満足 高い	順位	これからの“とちぎ”づくりに関する県民意向調査 (平成21年実施)	満足 高い	
1	38 安全で安定した水の供給	44.7	→	1	27 安全で安定した水の供給	45.4
4	40 下水道の整備	23.4	→	2	28 生活排水処理施設の整備・普及	35.7
15	50 交通安全の確保	17.4	→	3	47 総合的な交通安全対策の推進	23.5
5	45 道路ネットワーク	22.1	→	4	30 体系的な道路網の整備	21.6
3	43 公園や水辺の整備	27.9	→	5	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	21.4
10	8 県民文化	18.9	→	6	8 県民文化の振興	20.2
6	17 健康づくり	21.6	→	7	16 健康づくりと疾病予防対策の推進	20.0
7	42 美しい景観づくり	20.2	→	8	34 美しい景観とみどりづくり	19.6
24	44 公共交通ネットワーク	12.6	→	9	29 公共交通ネットワークの整備	19.1
11	47 災害対策	18.5	→	10	49 防災・危機管理対策の充実	19.0
29	5 快適でゆとりある教育環境	11.1	→	11	3 健康な体づくりと学校安全教育の充実	18.6
9	34 観光の振興	19.5	→	12	36 魅力ある“観光とちぎ”づくり	18.3
28	52 食品の安全性確保	11.3	→	13	18 食品の安全と生活衛生の確保	16.8
8	9 県民総スポーツ	19.6	→	14	9 県民総スポーツの推進	15.7
12	18 医療サービス	18.2	→	15	17 安心で良質な医療の確保	15.1
11	47 災害対策	18.5	→	16	50 防災基盤の整備	14.9
14	24 農産物の安定供給	17.7	→	17	19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立	14.8
16	7 生涯学習	16.7	→	18	7 生涯学習の推進	14.6
37	48 犯罪のない地域づくり	8.9	→	19	46 安全で安心なまちづくりの推進	14.0
36	41 快適で活力あるまちづくり	9.1	→	19	32 活気あふれるまちづくり	14.0
18	54 廃棄物対策	16.0	→	21	41 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進	13.7
20	14 子育て環境	14.8	→	22	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	13.2
41	1 基礎学力の向上	7.7	→	22	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	13.2
27	22 人権を尊重する社会づくり	11.5	→	24	10 人権尊重の社会づくり	13.0
19	15 高齢者の自立と生きがいづくり	15.7	→	25	13 高齢者の自立支援と生きがいづくりの推進	12.8
43	53 環境汚染の防止	7.5	→	25	40 良好な地域環境の保全	12.8
32	23 男女共同参画社会づくり	10.8	→	25	11 男女共同参画社会の実現	12.8
13	55 豊かな自然環境の保全	17.8	→	28	45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	12.7
20	20 保健・医療・福祉を支える人材の育成	11.0	→	29	15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり	11.9
17	26 安全・安心な農産物の生産と流通	16.5	→	30	21 人と環境にやさしい農業の展開	11.3
33	16 障害者の自立と社会参加	10.7	→	31	14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	11.1
39	51 消費生活の安定	8.3	→	31	48 安心できる消費生活の実現	11.1
18	54 廃棄物対策	16.0	→	33	42 廃棄物処理対策の推進	9.7
52	6 青少年の健全育成	5.3	→	34	5 自立した青少年の育成	9.2
42	10 社会貢献活動	7.6	→	34	38 社会貢献活動の促進	9.2
46	4 個性を生かせる多様な学校教育	6.4	→	36	4 個性を生かす特色ある教育の充実	9.1
33	33 企業誘致	10.7	→	37	25 成長性に富む企業の立地・定着促進	9.0
35	46 情報ネットワーク	9.4	→	37	39 情報ネットワーク社会の推進	9.0
49	2 心の教育	5.4	→	39	2 心の教育の推進	8.9
52	6 青少年の健全育成	5.3	→	40	6 青少年を取り巻く環境の整備	8.8
40	39 適切な土地利用	7.8	→	41	31 個性の輝く地域づくり	8.6
2	25 特色ある農産物の生産	40.3	→	42	20 農業を支える基盤づくり	8.4
49	29 森林の整備	5.4	→	42	44 環境を支える森林づくり	8.4
47	56 地球温暖化の防止	5.7	→	44	43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	8.2
25	27 食と農の理解促進	12.4	→	45	33 いきいきとした農山村づくり	7.7
45	13 国際化への対応	6.6	→	46	37 国際化の推進	7.5
57	30 新事業の創出	2.6	→	47	23 地域経済を牽引する産業の振興	6.5
48	32 地域に密着した産業の育成	5.5	→	48	24 地域に根ざした産業の振興	6.4
56	36 雇用の安定と職業能力の向上	3.4	→	49	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	5.7
44	28 林業の活性化	7.0	→	50	22 活力ある林業・木材産業の振興	5.6

③ 県の取組に関する満足度について（不満：高い）

前回上位10位以内だった6項目（2、42、6、26、46、24）が今回も10位以内となっている。「13 高齢者の自立支援と生きがいくりの推進」（21位→5位）や「1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実」（15位→10位）の不満度が上がっているのが目立つ。「17 安心して良質な医療の確保」（13位→1位）は今回は評価を大きく落とした。同様に「12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり」（16位→6位）も厳しい評価となっている。

なお、不満度は前回「不十分」＋「やや不十分」の割合で定義しており、今回の「不満」＋「どちらかといえば不満」に比べて全体的に割合が高くなっている。前は50%以上が全体で10項目あったが、今回は皆無となっている。（図表5-5）

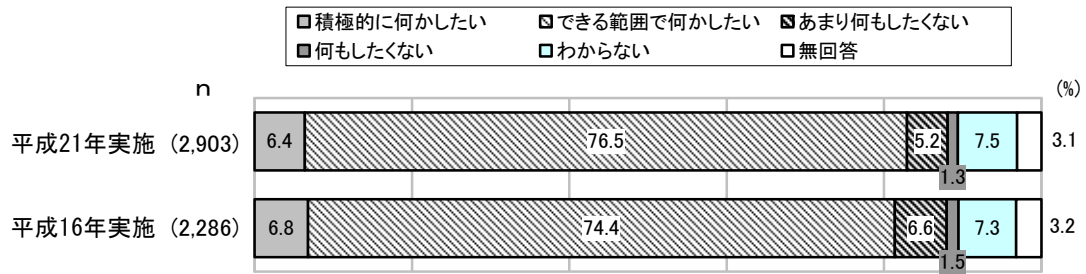
図表5-5 県民意向調査における項目＜満足度（不満：高い）＞経年比較表

順位	21世紀の“とちぎ”づくりに関する県民意向調査 (平成16年実施)	不満 高い	順位	これからの“とちぎ”づくりに関する県民意向調査 (平成21年実施)	不満 高い	
13	18 医療サービス	47.8	→	1	17 安心して良質な医療の確保	44.5
2	2 心の教育	57.8	→	2	2 心の教育の推進	38.3
10	54 廃棄物対策	50.4	→	3	42 廃棄物処理対策の推進	38.1
3	6 青少年の健全育成	57.4	→	4	6 青少年を取り巻く環境の整備	37.7
21	15 高齢者の自立と生きがいくりの推進	41.9	→	5	13 高齢者の自立支援と生きがいくりの推進	36.4
16	14 子育て環境	45.0	→	6	12 安心して子どもを生み育てることができる環境づくり	36.1
1	36 雇用の安定と職業能力の向上	61.1	→	7	26 産業人材の育成と円滑な就労の促進	35.1
6	48 犯罪のない地域づくり	55.3	→	8	46 安全で安心なまちづくりの推進	34.6
4	32 地域に密着した産業の育成	56.4	→	9	24 地域に根ざした産業の振興	34.2
15	1 基礎学力の向上	45.6	→	10	1 学ぶ力をはぐくむ教育の充実	30.6
45	24 農産物の安定供給	29.9	→	11	19 多様なニーズに対応できる強い農業の確立	29.8
28	20 保健・医療・福祉を支える人材の育成	40.4	→	12	15 地域の保健・福祉を支える基盤づくり	28.9
7	44 公共交通ネットワーク	54.9	→	13	29 公共交通ネットワークの整備	28.2
23	56 地球温暖化の防止	40.9	→	13	43 地球温暖化防止をはじめとした環境保全活動の推進	28.2
57	25 特色ある農産物の生産	18.5	→	15	20 農業を支える基盤づくり	27.9
43	52 食品の安全性確保	31.7	→	16	18 食品の安全と生活衛生の確保	27.7
26	45 道路ネットワーク	40.6	→	17	30 体系的な道路網の整備	26.7
9	41 快適で活力あるまちづくり	53.0	→	18	32 活気あふれるまちづくり	26.2
44	27 食と農の理解促進	30.2	→	19	33 いきいきとした農山村づくり	24.8
17	50 交通安全の確保	44.9	→	20	47 総合的な交通安全対策の推進	24.4
21	16 障害者の自立と社会参加	41.9	→	21	14 障害者の自立支援と豊かな地域生活の実現	24.3
10	54 廃棄物対策	50.4	→	22	41 3R（発生抑制、再使用、再生利用）の推進	23.9
37	33 企業誘致	34.5	→	23	25 成長性に富む企業の立地・定着促進	21.6
3	6 青少年の健全育成	57.4	→	24	5 自立した青少年の育成	21.1
11	4 個性を生かせる多様な学校教育	49.1	→	25	4 個性を生かす特色ある教育の充実	20.9
26	34 観光の振興	40.6	→	26	36 魅力ある“観光とちぎ”づくり	20.8
52	30 新事業の創出	27.7	→	27	23 地域経済を牽引する産業の振興	20.0
12	5 快適でゆとりある教育環境	48.3	→	28	3 健康な体づくりと学校安全教育の充実	19.9
40	26 安全・安心な農産物の生産と流通	32.1	→	29	21 人と環境にやさしい農業の展開	19.7
30	40 下水道の整備	39.7	→	30	28 生活排水処理施設の整備・普及	19.3
23	53 環境汚染の防止	40.9	→	31	40 良好な地域環境の保全	18.9
50	28 林業の活性化	28.6	→	32	22 活力ある林業・木材産業の振興	18.8
31	42 美しい景観づくり	38.8	→	33	34 美しい景観とみどりづくり	18.5
38	29 森林の整備	33.2	→	34	44 環境を支える森林づくり	18.3
42	9 県民総スポーツ	32.0	→	35	9 県民総スポーツの推進	18.0
53	47 災害対策	27.6	→	36	49 防災・危機管理対策の充実	17.9
45	17 健康づくり	29.9	→	37	16 健康づくりと疾病予防対策の推進	17.5
53	47 災害対策	27.6	→	38	50 防災基盤の整備	17.4
48	46 情報ネットワーク	29.5	→	39	39 情報ネットワーク社会の推進	17.1
40	43 公園や水辺の整備	32.1	→	40	35 憩いと安らぎの公園や水辺空間づくり	17.0
35	51 消費生活の安定	34.8	→	41	48 安心できる消費生活の実現	16.7
51	23 男女共同参画社会づくり	28.5	→	42	11 男女共同参画社会の実現	16.1
55	22 人権を尊重する社会づくり	22.1	→	43	10 人権尊重の社会づくり	15.3
39	55 豊かな自然環境の保全	32.4	→	44	45 豊かな自然環境の保全とふれあい活動の推進	14.8
33	7 生涯学習	35.5	→	45	7 生涯学習の推進	14.7
49	39 適切な土地利用	29.4	→	46	31 個性の輝く地域づくり	14.3
54	8 県民文化	27.5	→	47	8 県民文化の振興	13.7
56	38 安全で安定した水の供給	18.8	→	48	27 安全で安定した水の供給	12.6
36	13 国際化への対応	34.6	→	49	37 国際化の推進	11.9
32	10 社会貢献活動	36.2	→	50	38 社会貢献活動の促進	10.4

(4) よりよい“とちぎ”づくりに向けた今後の行動、参加意向

今回の結果は前回と比べて特に差はない。(図表5-6)

図表5-6 よりよい“とちぎ”づくりに向けた今後の行動、参加意向 経年変化の比較



「これからの“とちぎ”づくりに関する県民意向調査」

平成 21 年 3 月

栃木県 総合政策部 総合政策課

宇都宮市塙田 1 - 1 - 20

電話 (028) 623 - 2206